

令和8年5月11日

厚生保健委員会

健康福祉部高齢者福祉課
介護保険課

はままつ友愛の高齢者プラン策定に伴う実態調査の結果報告について

1 趣 旨

老人福祉法第20条の8の規定等に基づく次期高齢者保健福祉計画及び介護保険法第117条の規定に基づく次期介護保険事業計画および浜松市認知症施策推進計画を一体的に「はままつ友愛の高齢者プラン」（計画期間：令和9～11年度）として策定するにあたり、高齢者の生活状況や活動状況、介護保険サービスに対する意向や認知症に対する意識などの実態調査を行ったので、その結果を報告するもの。

2 調査対象・回収状況

No.	種 別	対 象 者	標本数	有効回収数	有効回収率
1	高齢者一般調査	市内在住の65歳以上の人で、介護認定を受けていない人	2,000	1,405	70.3%
2	在宅要支援認定者調査	市内在住の介護認定（要支援1・2）を受けている人（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者を含む。）及び事業対象者の人	2,000	1,257	62.9%
3	在宅要介護認定者調査	市内在住の介護認定（要介護1～5）を受けている人（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者を含む。）	2,000	1,122	56.1%
4	認知症の人とその家族の思い調査	認知症の診断を受けた人（疑いを含む）とその家族		263	
5	認知症に関する意識調査	18歳以上64歳以下で介護認定を受けていない人	1,500	544	36.3%

3 調査方法等

- 抽出方法 介護保険システムから該当者を無作為抽出
- 調査方法 No.1～3, 5 郵送により実施（自記式）
No.4 職員による聞き取り調査
- 調査期間 No.1～3, 5 令和7年12月15日～令和8年1月13日
No.4 令和7年11月4日～令和8年1月13日

4 調査結果報告書

別冊を添付

5 令和8年度計画策定スケジュール（予定）

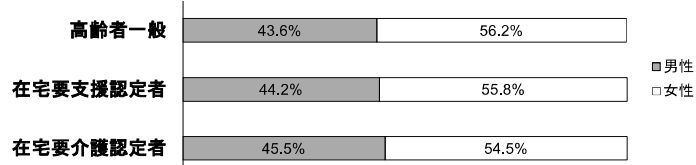
時期	内 容
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会厚生保健委員会 【報告】実態調査の結果
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第1回介護保険運営協議会 【審議】現計画実績報告、策定スケジュール、実態調査結果の報告 ・第1回地域包括支援センター運営協議会 【報告】現計画実績報告、策定スケジュール、実態調査結果の報告
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第2回介護保険運営協議会 【審議】骨子案
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会厚生保健委員会 【報告】骨子案 ・第3回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第3回介護保険運営協議会 【審議】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回地域包括支援センター運営協議会 【報告】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施 ・第4回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第4回介護保険運営協議会 【審議】プラン（案）、パブリック・コメント実施
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会厚生保健委員会 【報告】プラン（案）、パブリック・コメント実施
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン(修正案) ・第5回介護保険運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン(修正案)、給付費と保険料設定
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会厚生保健委員会 【報告】プラン(修正案)（保険料案含む） ・パブリック・コメント結果の公表
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回地域包括支援センター運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果、プラン(修正案) ・プラン決定・公表



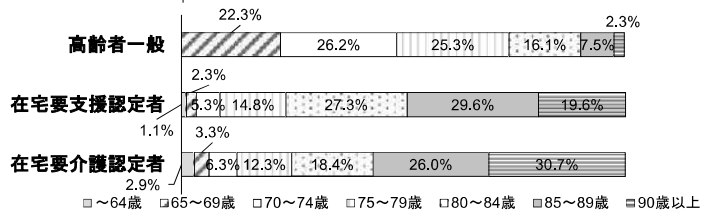
調査対象者の状況 1

高齢者一般 N=1,405
 在宅要支援認定者 N=1,257
 在宅要介護認定者 N=1,122
 単純集計

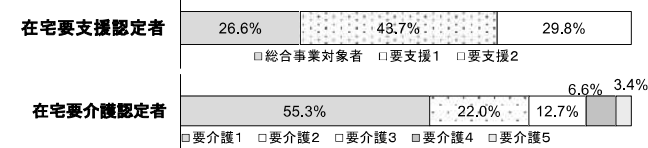
性別



年齢別



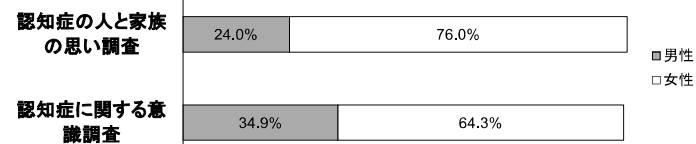
要介護度別



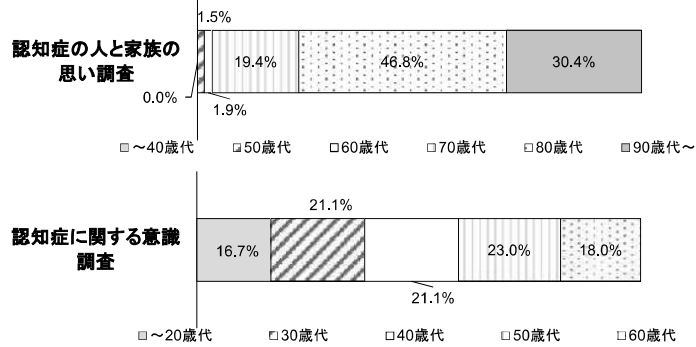
調査対象者の状況 2

認知症の人と家族の思い調査 N=263
 認知症に関する意識調査 N=544
 単純集計

性別



年齢別

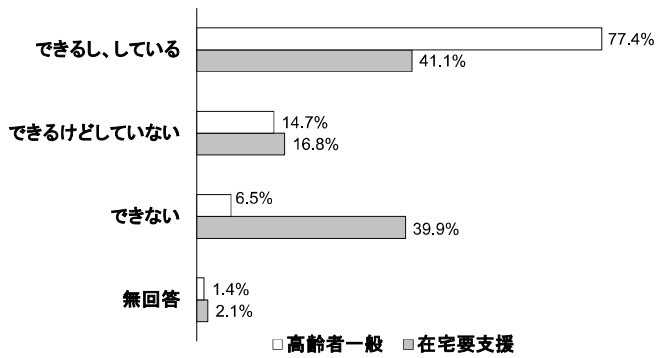




椅子からの立ち上がり

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

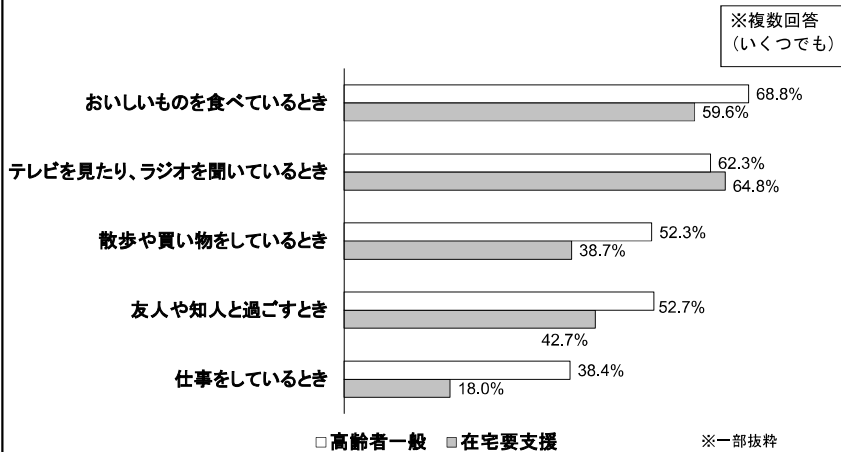


- ◆高齢者一般では「できるし、している」の割合が最も高い
- ◆要支援では「できるし、している」「できるけどしていない」の合計が57.9% (R4: 52.7%)となっています



生きがいを感じる時

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計



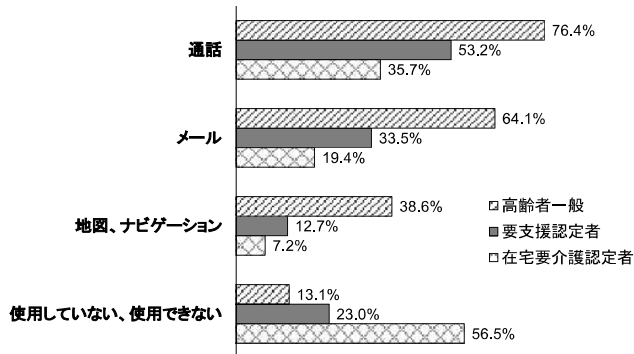
- ◆高齢者一般が「おいしいものを食べているとき」在宅要支援が「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が最も高くなっている (前回調査と同様の結果)



パソコン等の使用目的

高齢者一般 N=1,405
 在宅要支援認定者 N=1,257
 在宅要介護認定者 N=1,122
 単純集計

パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか

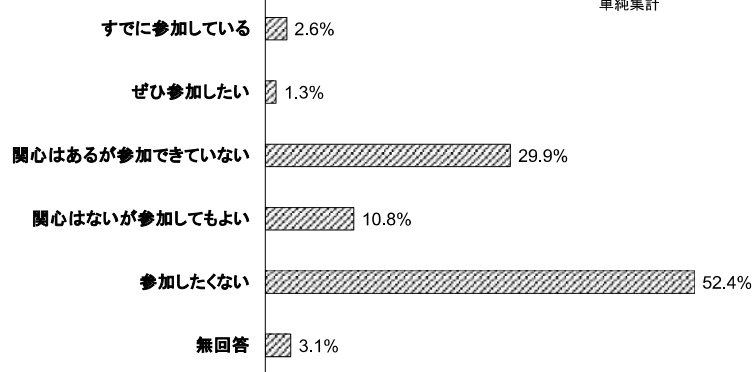


◆いずれの調査でも「通話」、「メール」の使用が多い結果となっている。
 「使用していない、できない」は高齢者一般が1割、要支援認定者が2割、要介護認定者は6割



地域住民による支え合い活動

高齢者一般 N=1,405
 単純集計



◆「ぜひ参加したい」「関心はあるが参加できていない」「関心はないが参加してもよい」の合計が42.0%となっている (R4: 38.5%)
 ⇒参加希望者を支え合い活動の新たな担い手として活動につなげる手法の検討が必要

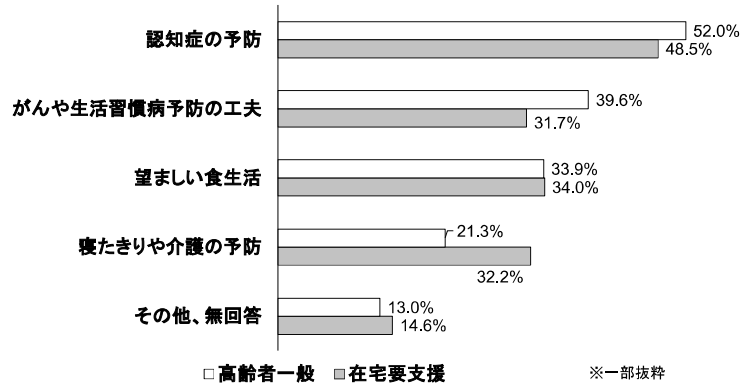


健康への関心

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

健康について知りたいこと

※複数回答
(3つまで)



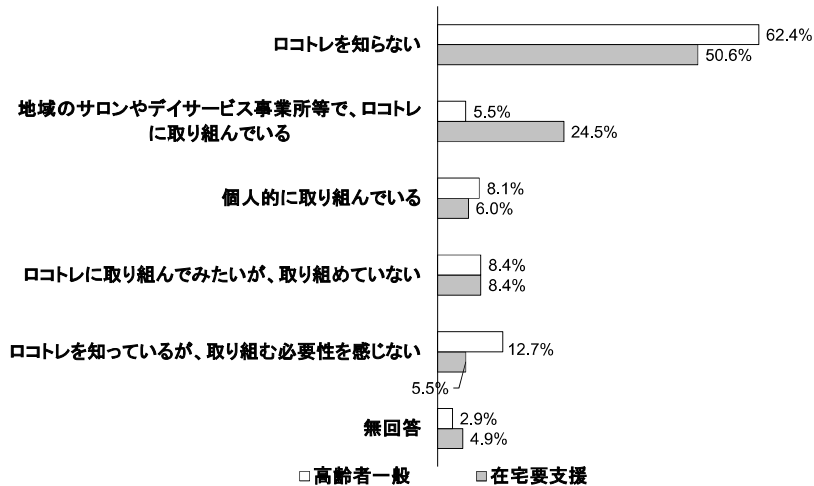
◆「認知症予防」への関心が第1位

がん・生活習慣病予防、食生活等への関心度も上位に位置づけられている
⇒関心事項に関する適切な情報提供の必要性



ロコトレの取組状況

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計



◆高齢者一般・要支援とも「ロコトレを知らない」の割合が最も高い

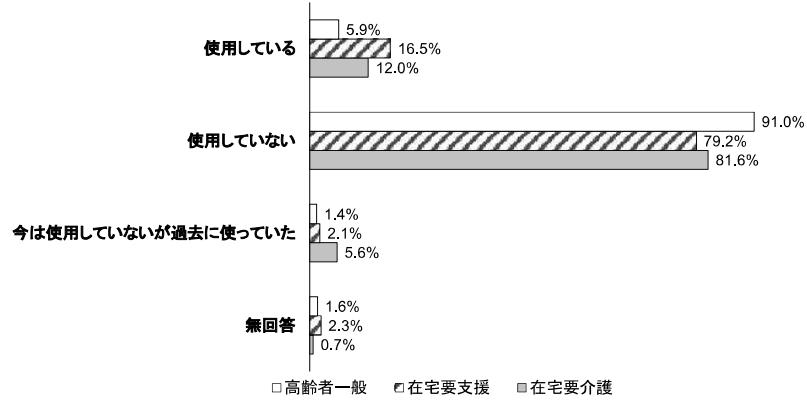
◆要支援で、「地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる」の割合が2割を超えている



補聴器の使用有無

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

補聴器を使用していますか

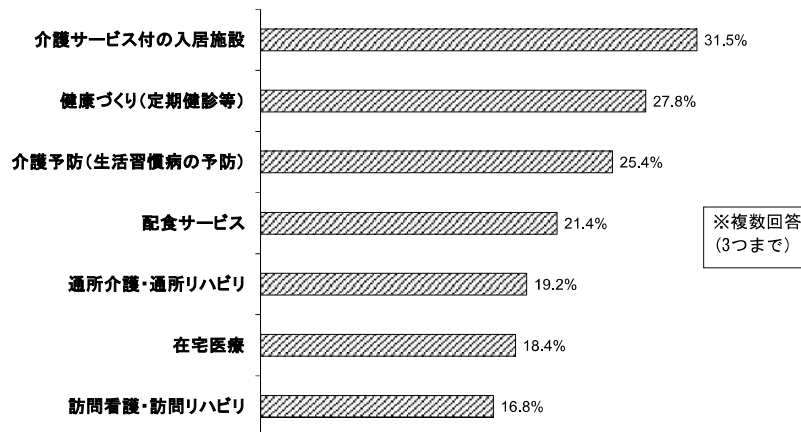


- ◆高齢者一般・要支援・要介護とも「使用していない」の割合が高い
- ◆要支援が「使用している」の割合が他より高くなっている



市に充実を求めること

高齢者一般 N=1,405
単純集計



※複数回答
(3つまで)

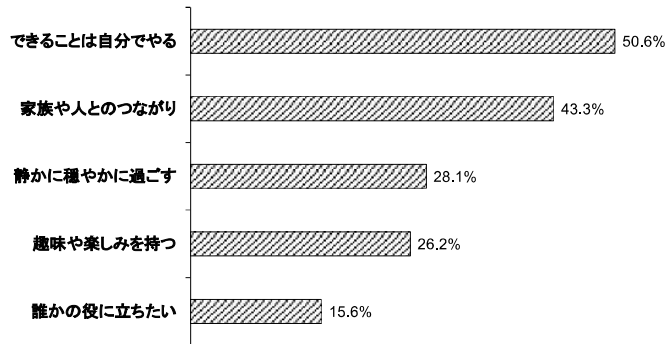
- ◆入居施設や健康づくり・介護予防に関することが上位に位置づけられており、続いて在宅で受けるサービスに関することが求められている

認知症の人の思い 1

認知症の人と
その家族の思い調査 N=263
単純集計

※複数回答
あり

暮らしの中で、あなた(認知症本人)が大切にしていることは何ですか



◆大切にしていることのエピソード

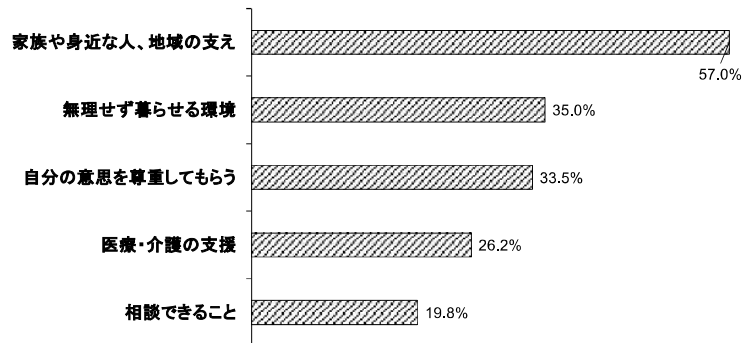
- ・食事や入浴などできることはなるべく自分でやっている
- ・本人と同居家族・別居家族で支え合うようにしている
- ・みんなと音楽を演奏したりお手伝いをすることで気持ちが安定する

認知症の人の思い 2

認知症の人と
その家族の思い調査 N=263
単純集計

※複数回答
あり

安心して暮らすために、あなた(認知症本人)が必要だと感じることは何ですか

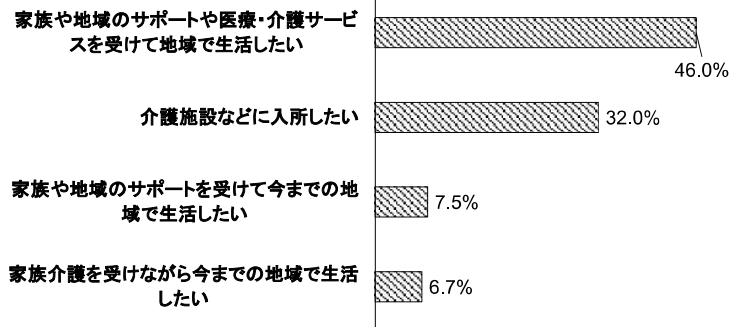


- ◆安心して暮らすために必要だと感じることは、「家族や身近な人、地域の支え」が最も多く、次いで「無理せず暮らせる環境」となっています。

認知症への意識 1

18歳～64歳で
介護認定を受けていない人
N=263 単純集計

自分や家族が認知症になったら、どのように暮らしたいか

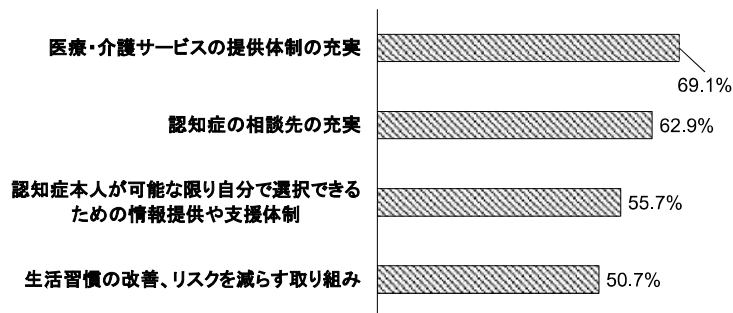


◆「家族や地域のサポートや医療・介護サービスを受けて地域で生活したい」が一番多く、次いで「介護施設などに入所したい」となっています。

認知症への意識 2

18歳～64歳で
介護認定を受けていない人
N=263 単純集計

自分や家族が認知症になっても、得意なことを活かしながら地域で暮らすために必要なこと

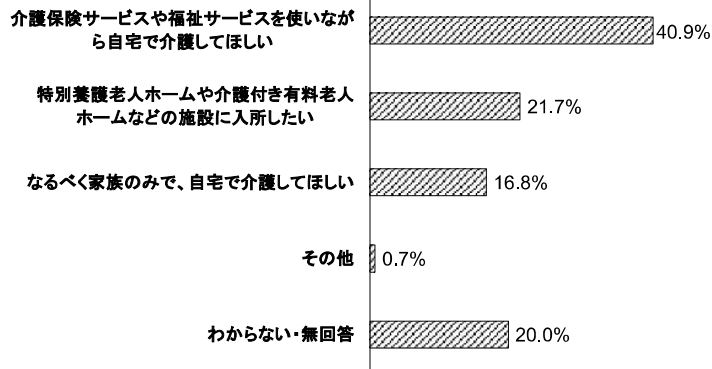


◆「医療・介護サービスの提供体制の充実」が一番多く、次いで「認知症の相談先の充実」となっています。4つの回答はすべて5割を超えています。



どこで介護を受けたいか

高齢者一般 N=1,405
単純集計

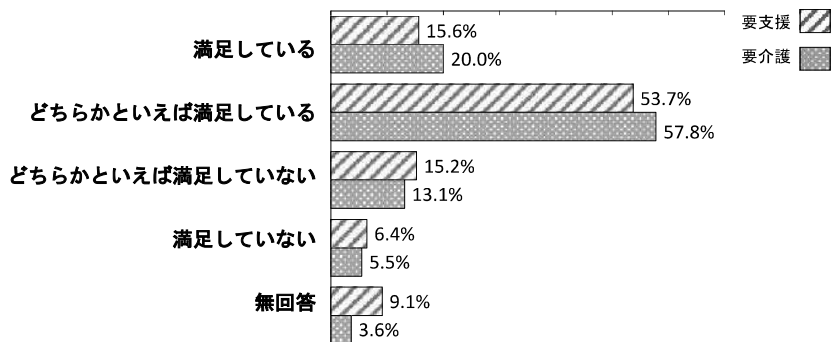


- ◆ 「介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護してほしい」人が4割を占めて最も高く、前回調査結果より増加(R4:38.8%)
- ◆ 「わからない・無回答」が前回より5%減少(R4:25.0%)
⇒ 介護保険に対する市民の理解が進み、介護を必要とする高齢者を支える重要な制度として社会に定着してきたことが伺える



介護保険制度の満足度

在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計



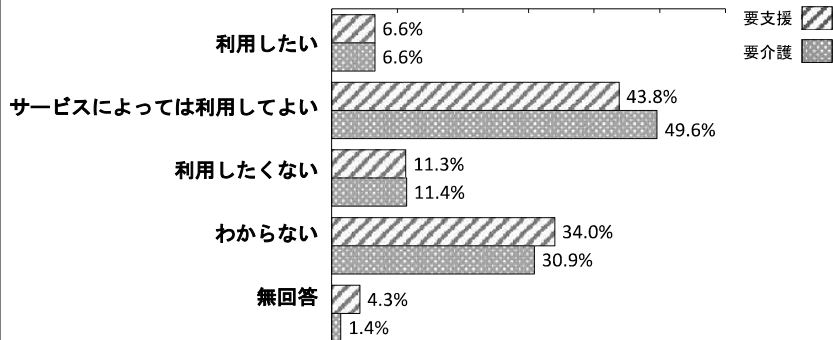
- ◆ 「満足」「どちらかといえば満足」の合計は、要支援 69.3%、要介護 77.8% と高い状況(R4:要支援 65.9%、要介護 76.5%)
⇒ 要支援、要介護共に制度への満足度は前回調査結果より上昇している



介護ロボット等の活用

在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計

介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか



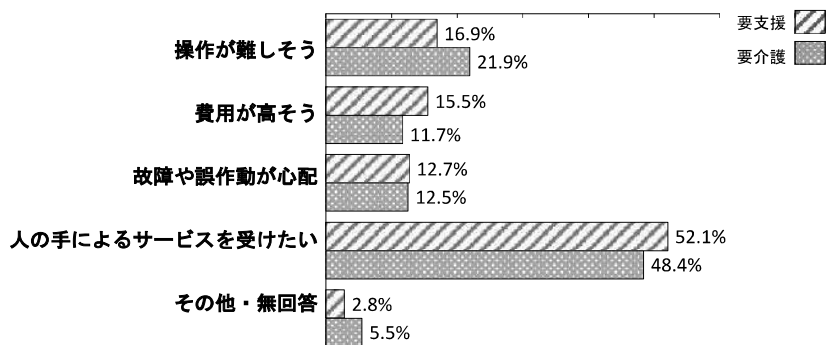
- ◆ 「利用したい」「サービスによっては利用してよい」の合計は5割を超える
(要支援 50.4%、要介護 56.2%)
- ◆ 「利用したくない」が1割、「わからない」が3割ある状況



「利用したくない」の理由

在宅要支援認定者 N=142
在宅要介護認定者 N=128
単純集計

介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由



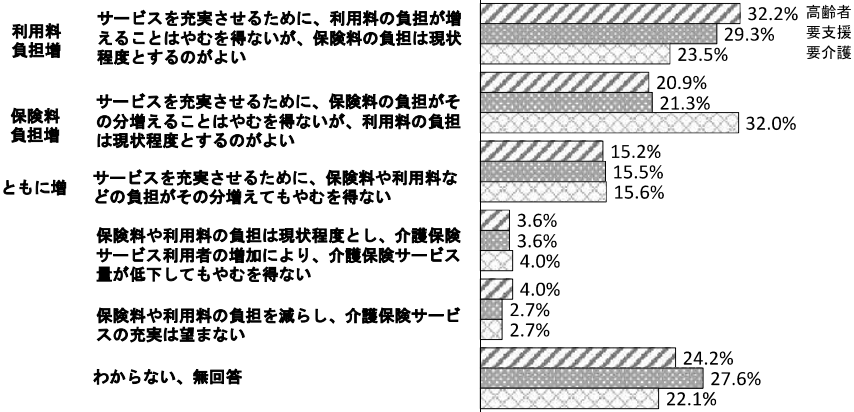
- ◆ 「人の手によるサービスを受けたい」の割合が最も高い
- ◆ 「操作が難しそう」「費用が高そう」の合計が3割を超える
(要支援 32.4%、要介護 33.6%)
- ⇒ 導入コスト、操作方法に不安があり、情報提供の必要性



介護保険サービスの充実

高齢者一般 N=1,405
在宅支援認定者 N=1,257
在宅介護認定者 N=1,122
単純集計

介護保険料と利用料の費用負担のあり方



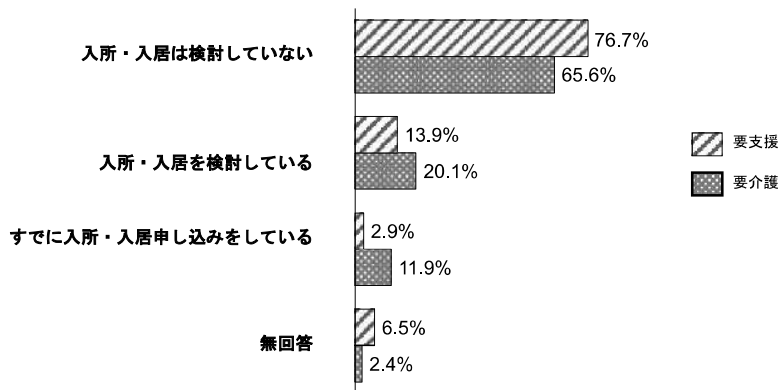
◆全体的に負担増があってもサービスの充実を希望している人が多い。高齢者一般及び要支援調査では利用料の負担増の割合が高く、介護保険サービスを利用している要介護調査では、保険料の負担増の割合が高い傾向にある。 ⇒ 保険料設定の参考



施設入所・入居の検討状況

在宅支援認定者 N=1,257
在宅介護認定者 N=1,122
単純集計

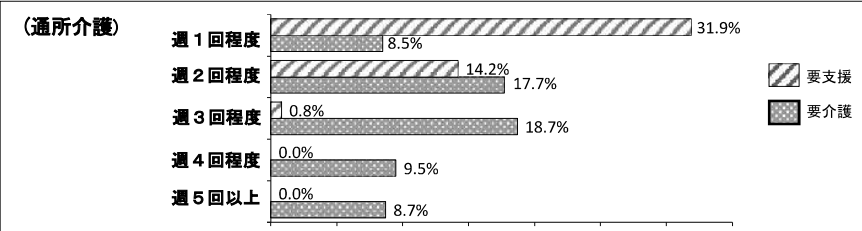
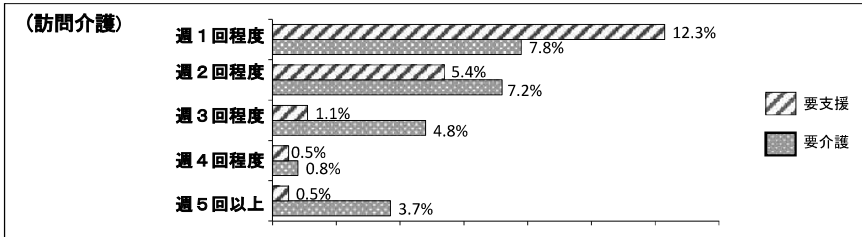
現時点での、施設等への入所・入居検討状況



◆前回調査に引き続き要支援、要介護認定者調査共に、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっている。(R4:要支援 74.4%、要介護 57.3%)
⇒ 利用者の状況に応じた適切な施設の整備に努めていく

現在利用しているサービス

在宅支援認定者 N=373
在宅介護認定者 N=733
単純集計

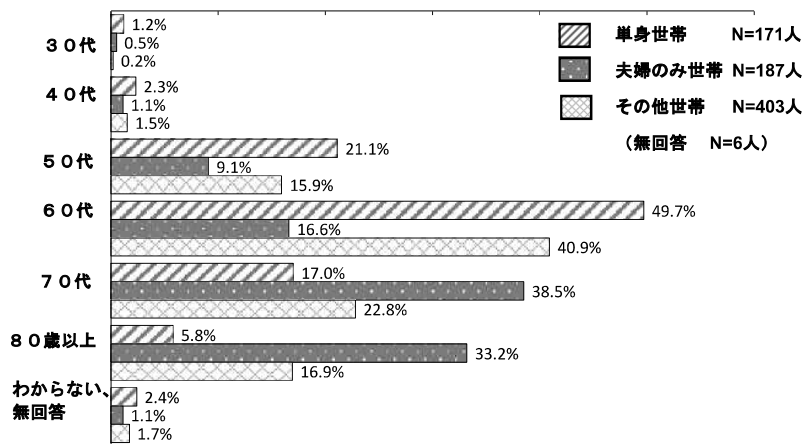


- ◆訪問介護サービスは要支援、要介護共に週1回程度が多い。
- ◆通所介護サービスは要支援が週1回程度、要介護は週3回程度の利用率が最も高い。

主な介護者の年齢

在宅介護認定者
家族構成別クロス集計
N=767

家族・親族（同居していない子供・親族含む）から協力を受けている人のみの回答



- ◆夫婦のみ世帯は70～80歳以上が多い（70歳以上が71.7%）（R4:64.9%）
- ◆単身世帯では50～60代が多い（60代が49.7%）（R4:39.9%）

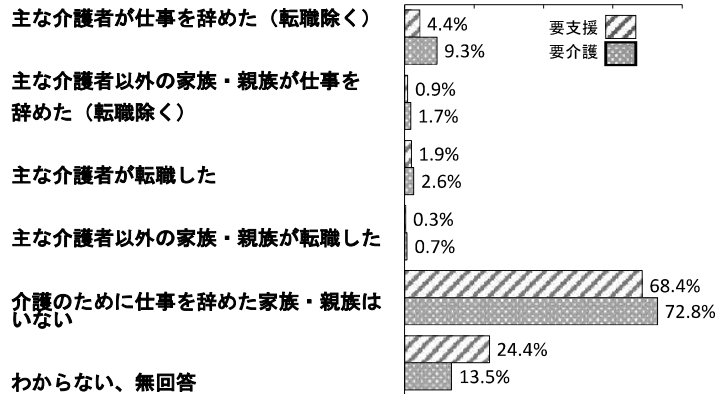


介護のための離職

在宅支援認定者 N=316
在宅要介護認定者 N=767
単純集計

家族・親族で過去1年間に仕事を辞めた人

※複数回答
(いくつでも)

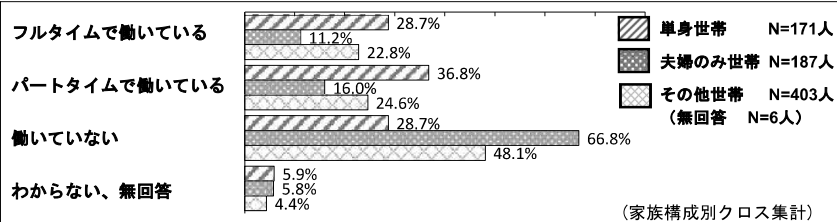


◆過去1年間に、在宅要介護認定者の介護者や家族・親族で仕事を辞めた人は前回調査時と同様に約1割 ⇒ 介護のために離職する人を減らすための施策の必要性

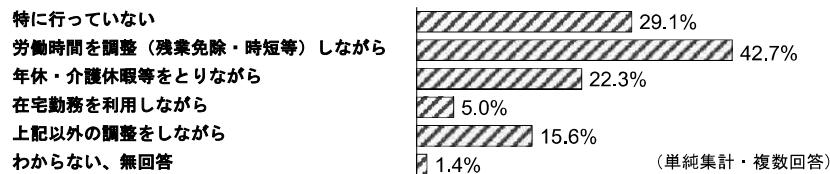


主な介護者の勤務形態

在宅要介護認定者
N=767



介護のための働き方の調整



◆主な介護者のうち、単身世帯では5割以上の方が働いている
 →夫婦のみ世帯では「働いていない」の割合が高く、前回調査結果より増加(R4:61.4%)
 ◆4割以上の介護者が「労働時間を調整しながら働く」など働き方の調整をしている

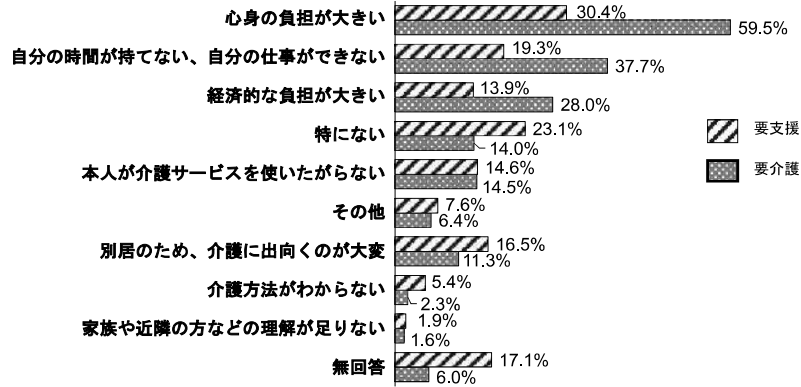


介護者の困りごと

在宅要支援認定者 N=316
在宅要介護認定者 N=767
単純集計

介護する上で困っていること（介護者）

※複数回答
(3つまで)



◆要介護認定者調査では、前回の調査結果と同様に介護者の半数以上が「心身の負担が大きい」と感じている ⇒ 適切なサービス利用の啓発、情報提供の必要性

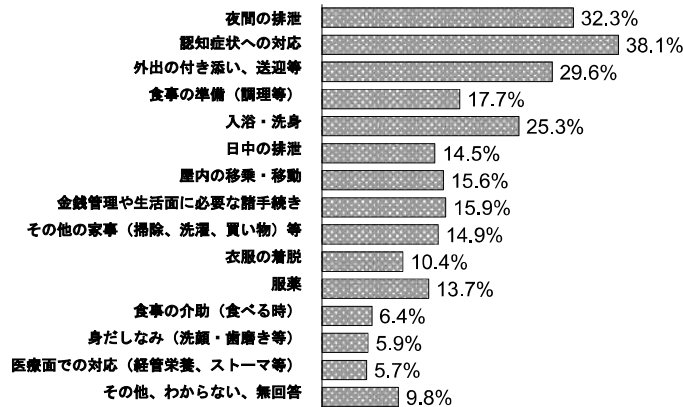


介護者が不安に感じる介護

在宅要介護認定者
単純集計 N=767

現在の生活を継続するにあたっての不安

※複数回答
(3つまで)



◆夜間の排泄、認知症状への対応、外出の付き添い・送迎等が前回調査に引き続き高い傾向にある ⇒ 不安解消に有効なサービスの提供や認知症施策の推進等の必要性

はままつ友愛の高齢者プラン策定に伴う実態調査
調査結果報告書

令和8年3月

浜松市

目 次

I 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	2
(5) 回収状況	2
(6) 調査の信頼性	3
(7) 調査結果の表示方法	3
(8) 調査対象者の状況	4
(9) 調査票回答者	9

II 調査結果（高齢者一般調査）

ご本人のことについて

(問 1) 家族構成	6
(F 1) 調査票回答者	9

あなたのご家族や生活状況について

(問 2) 介護・介助が必要か	12
(問 3) 現在の暮らしの経済的な状況	14
(問 4) 介護・介助を行っているか	16
(問 4 - 1) 介護・介助を行う相手	19

からだを動かすことについて

(問 5) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか	20
(問 6) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか	21
(問 7) 15分位続けて歩けるか	22
(問 8) 過去1年間に転んだ経験	23
(問 9) 転倒に対する不安	24
(問10) 週1回以上外出しているか	25
(問11) 昨年と比べて外出回数が減ったか	26

食べることについて

(問12) 身長・体重	27
(問13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	29
(問14) 歯の数と入れ歯の利用状況	30
(問15) 誰かと食事をする機会	32

毎日の生活について

(問16)	物忘れが多いと感じるか	34
(問17)	外出する際の主な移動手段	35
(問18)	バスや電車を使った外出	39
(問19)	食品・日用品の買い物	40
(問20)	食事の用意	41
(問21)	請求書の支払い	42
(問22)	預貯金の出し入れ	43
(問23)	生きがいを感じる時	44
(問47)	今後やってみたいもの	49
(問24)	パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的	52

地域での活動について

(問25①)	ボランティアのグループへの参加頻度	64
(問25②)	スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度	64
(問25③)	趣味関係のグループへの参加頻度	65
(問25④)	学習・教養サークルへの参加頻度	65
(問25⑤)	介護予防のための通いの場への参加頻度	66
(問25⑥)	シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度	66
(問25⑦)	町内会・自治会への参加頻度	67
(問25⑧)	収入のある仕事への参加頻度	67
(問26)	地域住民の有志による地域づくりに参加者として参加したいか	68
(問27)	地域住民の有志による地域づくりに企画・運営として参加したいか	70
(問28)	地域住民による支え合い活動の担い手として参加したいか	72
(問29)	地域住民による支え合い活動で利用したいサービス	73

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(問30)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	76
(問31)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	80
(問32)	看病や世話をしてくれる人	84
(問33)	看病や世話をしてあげる人	87

健康について

- (問34) 現在の健康状態…………… 90
- (問35) 健康のために心がけていること…………… 92
- (問36) 健康について知りたいこと…………… 97
- (問37) 現在の幸福度……………100
- (問38) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることの有無……………104
- (問39) 興味がわからない、心から楽しめないことの有無……………105
- (問40) 喫煙状況……………106
- (問41) 治療中、または後遺症のある病気……………108
- (問42) 「フレイル」の認知……………113
- (問43) ロコトレへの取り組み状況……………114
- (問44) 補聴器の使用有無……………116
- (問45) 補聴器を使用した感想……………118
- (問46) 補聴器を使用していない理由……………120

認知症等について

- (問52) 認知症の症状がある、又は家族で認知症の症状のある人の有無……………122
- (問53) 認知症相談窓口の認知……………123
- (問54) 認知症の人が自分らしく暮らしていると思うか……………124
- (問55) 認知症になっても地域で暮らすために必要なこと……………126
- (問51) 地域包括支援センターの役割の認知……………132
- (問56) 病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか……………137
- (問57) 「人生会議手帳」の認知……………141

今後の暮らしについて

- (問48) 介護が必要になった場合に受けたい介護……………143
- (問49) 家族に介護が必要になった場合にしたい介護……………145
- (問58) 老後を安心して過ごすために市に充実を求めること……………146

介護保険制度や介護保険サービスについて

- (問50) 介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか……………168

自由意見

- 高齢者の保健福祉行政についての意見……………220

Ⅲ 調査結果（在宅要支援認定者調査）

ご本人のことについて

- （問 2） 家族構成 …………… 6
（問 1） 調査票回答者 …………… 9

あなたのご家族や生活状況について

- （問 3） 介護・介助が必要か …………… 12
（問 4） 現在の暮らしの経済的な状況 …………… 14
（問 5） 介護・介助を行っているか …………… 16
（問 5-1） 介護・介助を行う相手 …………… 19

からだを動かすことについて

- （問 6） 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか …………… 20
（問 7） 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか …………… 21
（問 8） 15分位続けて歩けるか …………… 22
（問 9） 過去1年間に転んだ経験 …………… 23
（問10） 転倒に対する不安 …………… 24
（問11） 週1回以上外出しているか …………… 25
（問12） 昨年と比べて外出回数が減ったか …………… 26

食べることについて

- （問13） 身長・体重 …………… 27
（問14） 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか …………… 29
（問15） 歯の数と入れ歯の利用状況 …………… 30
（問16） 誰かと食事をする機会 …………… 32

毎日の生活について

- （問17） 物忘れが多いと感じるか …………… 34
（問18） 外出する際の主な移動手段 …………… 35
（問19） バスや電車を使った外出 …………… 39
（問20） 食品・日用品の買い物 …………… 40
（問21） 食事の用意 …………… 41
（問22） 請求書の支払い …………… 42
（問23） 預貯金の出し入れ …………… 43
（問24） 生きがいを感じる時 …………… 44
（問25） 今後やってみたいもの …………… 49
（問26） パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的 …………… 52

地域での活動について

(問27①)	ボランティアのグループへの参加頻度	64
(問27②)	スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度	64
(問27③)	趣味関係のグループへの参加頻度	65
(問27④)	学習・教養サークルへの参加頻度	65
(問27⑤)	介護予防のための通いの場への参加頻度	66
(問27⑥)	シニアクラブ・老人クラブへの参加頻度	66
(問27⑦)	町内会・自治会への参加頻度	67
(問27⑧)	収入のある仕事への参加頻度	67
(問28)	地域住民の有志による地域づくりに参加者として参加したいか	68
(問29)	地域住民の有志による地域づくりに企画・運営として参加したいか	70
(問30)	地域住民による支え合い活動で利用したいサービス	73

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(問31)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	76
(問32)	心配事や愚痴を聞いてあげる人	80
(問33)	看病や世話をしてくれる人	84
(問34)	看病や世話をしてあげる人	87

健康について

(問35)	現在の健康状態	90
(問36)	健康のために心がけていること	92
(問37)	健康について知りたいこと	97
(問38)	現在の幸福度	100
(問39)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることの有無	104
(問40)	興味がわからない、心から楽しめないことの有無	105
(問41)	喫煙状況	106
(問42)	治療中、または後遺症のある病気	108
(問43)	「フレイル」の認知	113
(問44)	ロコトレへの取り組み状況	114
(問45)	補聴器の使用有無	116
(問46)	補聴器を使用した感想	118
(問47)	補聴器を使用していない理由	120

認知症等について

- (問48) 認知症の症状がある、又は家族で認知症の症状のある人の有無……………122
- (問49) 認知症相談窓口の認知……………123
- (問50) 認知症の人が自分らしく暮らしていると思うか……………124
- (問51) 認知症になっても地域で暮らすために必要なこと……………126
- (問52) 地域包括支援センターの役割の認知……………132
- (問53) 病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか……………137
- (問54) 「人生会議手帳」の認知……………141

災害・避難時の対応について

- (問55) 災害時や緊急時に1人で避難できるか……………149
- (問56) 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無……………152
- (問57) 災害が起きた時の心配事や問題点……………155

介護保険制度や介護保険サービスについて

- (問58) 介護保険制度の満足度……………160
- (問59) 担当のケアマネジャーの満足度……………163
- (問60) 介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか……………164
- (問61) 介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由……………166
- (問62) 介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか……………168
- (問63) 施設等への入所・入居の検討状況……………172
- (問64) 令和7年11月の介護保険サービスの利用状況……………173
- (問65) 介護保険サービスを利用しなかった理由……………174
- (問66) 介護保険サービスの利用状況……………182
- (問67) 家族や親族からの介護の頻度……………185
- (問68) 主な介護者の年齢……………189
- (問69) 家族・親族で介護を理由に仕事を辞めた人の有無……………196
- (問70) 主な介護者の勤務形態……………200
- (問71) 主な介護者は介護のために働き方の調整等をしているか……………202
- (問72) 主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか……………206
- (問73) 介護する上で困っていること……………208
- (問74) 主な介護者が不安を感じている介護……………213

自由意見

- 介護保険制度などについての意見……………221

IV 調査結果（在宅要介護認定者調査）

ご本人のことについて

- （問 2） 世帯類型 6
- （問 1） 調査票回答者 9
- （問 3） 最近1カ月の労働状況 11

あなたのご家族や生活状況について

- （問 4） 介護・介助を行っているか 16
- （問 4-1） 介護・介助を行う相手 19

毎日の生活について

- （問 5） パソコン・スマートフォン・タブレットの使用目的 52

健康について

- （問 6） 補聴器の使用有無 116

認知症等について

- （問 7） 認知症になっても地域で暮らすために必要なこと 126
- （問 8） 地域包括支援センターの役割の認知 132
- （問 9） 病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか 137
- （問10） 「人生会議手帳」の認知 141

災害・避難時の対応について

- （問11） 災害時や緊急時に1人で避難できるか 149
- （問12） 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無 152
- （問13） 災害が起きた時の心配事や問題点 155

介護保険制度や介護保険サービスについて

(問14)	介護保険制度の満足度	160
(問15)	担当のケアマネジャーの満足度	163
(問16)	介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか	164
(問17)	介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由	166
(問18)	介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか	168
(問19)	施設等への入所・入居の検討状況	172
(問20)	令和7年11月の介護保険サービスの利用状況	173
(問21)	介護保険サービスを利用しなかった理由	174
(問22)	介護保険サービスの利用状況	182
(問23)	家族や親族からの介護の頻度	185
(問24)	主な介護者の年齢	189
(問25)	家族・親族で介護を理由に仕事を辞めた人の有無	196
(問26)	主な介護者の勤務形態	200
(問27)	主な介護者は介護のために働き方の調整等をしているか	202
(問28)	主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか	206
(問29)	介護する上で困っていること	208
(問30)	主な介護者が不安を感じている介護	213

自由意見

介護保険制度などについての意見	222
-----------------	-----

V 調査結果（認知症の人とその家族の思い調査）

認知症本人と家族等について

（問 1①）性別	4
（問 1③）年齢	5
（問 1④）暮らしの状況	6
（問 1②）居住地区	7
（問 1⑤）認知症のタイプ	223
（問 1⑥）診断を受けてからの期間	224
（問 2）認知症と診断を受けた時の気持ち	225
（問 2-1）認知症と診断を受けた時の気持ちの理由や状況	225
（問 3）認知症の理解の実感	226
（問 3-1）認知症の理解の実感の理由やエピソード	226
（問 4）普段の生活の中で自分の意思を伝えているか	227
（問 4-1）普段の生活の中で自分の意思を伝えているかの理由やエピソード	227
（問 5）暮らしの中で大切にしていること	228
（問 5-1）暮らしの中で大切にしていることの理由やエピソード	228
（問 6）地域や暮らしの中でのコミュニティ	230
（問 7）困ったときの相談先	230
（問 8）希望に沿った医療・介護サービス	231
（問 8-1）いま受けている支援について思っていること	231
（問 9）安心して暮らすために必要だと感じること	232
（問 9-1）安心して暮らすために「ご家族等の介護者」として感じていること	233

調査員について

（①）所属事業所	234
----------	-----

VI 調査結果（認知症に関する意識調査）

（問 1①）性別	4
（問 1③）年齢	5
（問 1②）居住地区	7
（問 1④）職業	235
（問 2）認知症について知っていること	236
（問 3）若年性認知症について知っていること	238
（問 4）認知症の人の日常生活のイメージ	239
（問 5）自分や家族が認知症になった時のこと	240
（問 6）自分や家族が認知症になった場合、近所の人に知ってほしいか	241
（問 7）自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいか	242
（問 8）自分や家族が認知症になった場合の相談先	243
（問 9）「考えたことがない」理由	246
（問10）「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の認知度	247
（問11）認知症の人の尊厳は守られているか	248
（問12）認知症になっても地域で暮らすために必要なこと	249
（問13）認知症の人が地域で生活するために、自分ができる行動	251
（問14）認知症サポーターの認知度	254
（問15）「成年後見制度」について知っていること	255

VII 付録 調査票

（1）高齢者一般調査	257
（2）在宅要支援認定者調査	267
（3）在宅要介護認定者調査	277
（4）認知症の人とその家族の思い調査	283
（5）認知症に関する意識調査	286

I 調査概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

老人福祉法第20条の8の規定に基づく高齢者保健福祉計画及び介護保険法第117条第1項の規定に基づく介護保険事業計画、共生社会の実現を推進するための認知症基本法第13条第1項の規定に基づく認知症施策推進計画を「はままつ友愛の高齢者プラン」として一体的に策定する上で必要な基礎資料を得るため、高齢者の生活状況や活動状況、介護保険サービスに対する意向、認知症や認知症の人に対する市民の理解度、認知症の人の意思が尊重された生活の状況などの実態を把握することを目的として実施しました。

(2) 調査対象

No.	調査名称	対象者	対象者人口	標本数 (対象者比率)
1	高齢者一般調査	65歳以上で介護認定を受けていない人	186,813人	2,000 (1.1%)
2	在宅要支援認定者調査	要支援1・2認定者（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者含む。）及び事業対象者	13,548人	2,000 (14.8%)
3	在宅要介護認定者調査	要介護1～5認定者（施設入所者を除く。介護保険サービス未利用者含む。）とその家族	19,792人	2,000 (10.1%)
4	認知症の人とその家族の思い調査	認知症の診断を受けた人（疑いも含む）とその家族		
5	認知症に関する意識調査	18歳以上64歳以下で介護認定を受けていない人	439,571人	1,500 (0.3%)

※対象者人口は令和7年4月1日現在

(3) 調査期間

No.	調査名称	期間
1	高齢者一般調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日
2	在宅要支援認定者調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日
3	在宅要介護認定者調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日
4	認知症の人とその家族の思い調査	令和7年11月4日～令和8年1月13日
5	認知症に関する意識調査	令和7年12月15日～令和8年1月13日

(4) 調査方法

No.	調査名称	抽出方法	回答形式
1	高齢者一般調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	調査票（紙）
2	在宅要支援認定者調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	調査票（紙）
3	在宅要介護認定者調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	調査票（紙）
4	認知症の人とその家族の思い調査	行政職員、地域包括支援センターの職員、ケアマネジャー、介護保険サービス提供事業所の職員による個別聴き取り調査	Web回答
5	認知症に関する意識調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出	Web回答

(5) 回収状況

No.	調査名称	発送数	有効回収数	有効回収率
1	高齢者一般調査	2,000通	1,405通	70.3%
2	在宅要支援認定者調査	2,000通	1,257通	62.9%
3	在宅要介護認定者調査	2,000通	1,122通	56.1%
4	認知症の人とその家族の思い調査		263通	
5	認知症に関する意識調査	1,500通	544通	36.3%

区分	高齢者一般調査			在宅要支援認定者調査			在宅要介護認定者調査		
	発送数	有効回収数	有効回収率	発送数	有効回収数	有効回収率	発送数	有効回収数	有効回収率
中央区	1,482	1,040	70.2%	1,541	982	63.7%	1,478	834	56.4%
浜名区	412	289	70.1%	362	213	58.8%	404	223	55.2%
天竜区	106	73	68.9%	97	62	63.9%	118	65	55.1%
不明		3			0			0	
合計	2,000	1,405	70.3%	2,000	1,257	62.9%	2,000	1,122	56.1%

区分	認知症の人とその家族の思い調査	認知症に関する意識調査		
	回収数（聞き取り）	発送数	有効回収数	有効回収率
中央区	187	1,119	397	35.5%
浜名区	62	311	116	37.3%
天竜区	13	70	31	44.3%
その他	1		0	
合計	263	1,500	544	36.3%

(6) 調査の信頼性

回答の精度（最大誤差）と母集団の大きさ（アンケート対象者人口）に対して必要とされる有効回収数は、精度を低く設定すると必要とされる有効回収数も少なくなり、精度を高く設定すると必要とされる有効回収数も多くなる関係にあります。

今回の調査において、回答の精度（最大誤差）を3%、調査の信頼度を95%とした場合に必要とされる有効回収数は、下記の計算式で求めることができます。

この結果、必要とされる有効回収数は高齢者一般調査1,061通、在宅要支援認定者調査989通、在宅要介護認定者調査1,012通となり、これを上回る有効回収数を得ていることから、調査結果の値の誤差は±3%以内の信頼性が高いものであるといえます。

これは、例えば、違う方を対象に同じ調査を100回行った場合でも、95回（信頼度95%）は調査結果の値が±3%以内でしか変わらないということです。

必要とされる有効回収数の求め方

$$\text{必要とされる有効回収数} = N / \left(\frac{(E/K)^2 \times (N-1)}{P \times (1-P)} + 1 \right)$$

N：母集団の大きさ（各調査種別のアンケート対象人口）

E：回答の精度（最大誤差）3%

K：信頼度係数1.96（0.95（信頼度95%）における正規分布の値）

P：回答比率（最も誤差が生じる0.5（50%）に設定）

また、認知症施策推進の基礎資料とするため本市独自に実施した認知症に関する意識調査については、浜松市市民意識調査と同等の水準である回答の精度（最大誤差）5%、調査の信頼度95%を目標に調査を実施し、必要となる有効回収数である384通を上回る544通の有効回収数を得ています。

(7) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・表やグラフ中の回答選択肢が長文の場合、処理の都合上、省略している場合があります。
- ・一部のグラフにおいて、0.0%の表記を省略している場合があります。

(8) 調査対象者の状況

①性別

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男性	612	43.6%	556	44.2%	510	45.5%
女性	790	56.2%	701	55.8%	612	54.5%
不明	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

区分	認知症の人とその家族の 思い調査		認知症に関する意識調査	
	回答数	割合	回答数	割合
男性	63	24.0%	190	34.9%
女性	200	76.0%	350	64.3%
その他	0	0.0%	4	0.7%
合計	263	100.0%	544	100.0%

②年齢

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
65歳未満			14	1.1%	32	2.9%
65～69歳	314	22.3%	29	2.3%	37	3.3%
70～74歳	368	26.2%	67	5.3%	71	6.3%
75～79歳	355	25.3%	186	14.8%	138	12.3%
80～84歳	226	16.1%	343	27.3%	207	18.4%
85～89歳	106	7.5%	372	29.6%	292	26.0%
90歳以上	33	2.3%	246	19.6%	345	30.7%
不明	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

区分	認知症の人とその家族の 思い調査	
	回答数	割合
～40歳代	0	0.0%
50歳代	4	1.5%
60歳代	5	1.9%
70歳代	51	19.4%
80歳代	123	46.8%
90歳代	80	30.4%
100歳代～	0	0.0%
合計	263	100.0%

区分	認知症に関する意識調査	
	回答数	割合
～20歳代	91	16.7%
30歳代	115	21.1%
40歳代	115	21.1%
50歳代	125	23.0%
60歳代	98	18.0%
合計	544	100.0%

③家族構成

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合
1人暮らし	202	14.4%	374	29.8%
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	568	40.4%	324	25.8%
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	57	4.1%	15	1.2%
息子・娘との2世帯	322	22.9%	365	29.0%
その他	226	16.1%	166	13.2%
無回答	30	2.1%	13	1.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

④世帯類型

区分	在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合
単身世帯	261	23.3%
夫婦のみ世帯	304	27.1%
その他	544	48.5%
無回答	13	1.2%
合計	1,122	100.0%

⑤暮らしの状況

区分	認知症の人とその家族の 思い調査	
	回答数	割合
自宅で一人暮らし	30	11.4%
自宅で家族と同居	98	37.3%
介護施設などに入所	129	49.0%
その他	6	2.3%
合計	263	100.0%

⑥介護度

区分	在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合
総合事業対象者	334	26.6%		
要支援1	549	43.7%		
要支援2	374	29.8%		
要介護1			620	55.3%
要介護2			247	22.0%
要介護3			143	12.7%
要介護4			74	6.6%
要介護5			38	3.4%
合計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

⑦居住地区

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中央区	1,040	74.0%	982	78.1%	834	74.3%
浜名区	289	20.6%	213	16.9%	223	19.9%
天竜区	73	5.2%	62	4.9%	65	5.8%
不明	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

区分	認知症の人とその家族の 思い調査		認知症に関する意識調査	
	回答数	割合	回答数	割合
中央区	187	71.1%	397	73.0%
浜名区	62	23.6%	116	21.3%
天竜区	13	4.9%	31	5.7%
その他	1	0.4%	0	0.0%
合計	263	100.0%	544	100.0%

⑧日常生活圏域

区	包括圏域	該当地区	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査		在宅要介護認定者調査	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
中央区	元浜	北、曳馬	71	5.1%	75	6.0%	54	4.8%
	鴨江	西、県居、江西	56	4.0%	66	5.3%	37	3.3%
	佐鳴台	城北、佐鳴台	46	3.3%	53	4.2%	34	3.0%
	和合	富塚、萩丘（住吉・和合）	32	2.3%	46	3.7%	34	3.0%
	板屋	中央、東、江東、駅南	79	5.6%	86	6.8%	75	6.7%
	高丘	萩丘（萩丘中、葵・高丘）	100	7.1%	71	5.6%	53	4.7%
	ありたま	積志	67	4.8%	60	4.8%	52	4.6%
	さぎの宮	長上、笠井	80	5.7%	71	5.6%	72	6.4%
	あんま	中ノ町、和田、蒲	67	4.8%	58	4.6%	58	5.2%
	大平台	入野、篠原	57	4.1%	62	4.9%	64	5.7%
	和地	庄内、和地、伊佐見	61	4.3%	47	3.7%	52	4.6%
	雄踏	舞阪	26	1.9%	18	1.4%	18	1.6%
		雄踏	29	2.1%	29	2.3%	34	3.0%
		神久呂	17	1.2%	21	1.7%	15	1.3%
	新津	新津、可美	51	3.6%	53	4.2%	40	3.6%
	芳川	芳川、河輪、五島	72	5.1%	65	5.2%	60	5.3%
三和	白脇、飯田	59	4.2%	59	4.7%	39	3.5%	
三方原	三方原、都田、新都田	85	6.0%	66	5.3%	54	4.8%	
浜名区	細江	細江	36	2.6%	32	2.5%	24	2.1%
		引佐	29	2.1%	17	1.4%	27	2.4%
		三ヶ日	22	1.6%	22	1.8%	28	2.5%
	北浜	北浜	78	5.6%	53	4.2%	51	4.5%
	しんばら	浜名、鹿玉	64	4.6%	36	2.9%	47	4.2%
	於呂	中瀬、赤佐	46	3.3%	29	2.3%	35	3.1%
天竜区	天竜	天竜	43	3.1%	33	2.6%	29	2.6%
		春野	12	0.9%	9	0.7%	16	1.4%
	北遠中央	佐久間	6	0.4%	4	0.3%	6	0.5%
		水窪	1	0.1%	3	0.2%	2	0.2%
	龍山	10	0.7%	13	1.0%	12	1.1%	
	不明		3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
	合計		1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

(9) 調査票回答者（複数回答・高齢者一般調査のみ単数回答）

区分	高齢者一般調査		在宅要支援認定者調査	
	件数	割合	件数	割合
あて名のご本人が記入	1,238	88.1%	963	76.6%
ご家族が記入	53	3.8%	249	19.8%
その他	0	0.0%	5	0.4%
無回答	114	8.1%	85	6.8%
有効回収数	1,405	100.0%	1,257	-

区分	在宅要介護認定者調査	
	件数	割合
調査対象者本人	435	38.8%
主な介護者となっている家族・親族	765	68.2%
主な介護者以外の家族・親族	31	2.8%
その他	15	1.3%
無回答	14	1.2%
有効回収数	1,122	-

調査結果

- Ⅱ 高齢者一般調査
- Ⅲ 在宅要支援認定者調査
- Ⅳ 在宅要介護認定者調査

最近1カ月の労働状況

あなたは、最近1カ月の間に、何かお仕事をされましたか。(〇はひとつ)

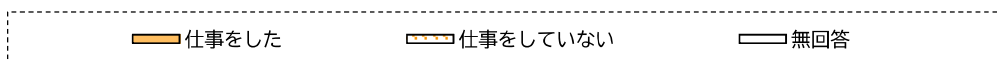
<在宅要介護認定者調査 問3>

【単純集計】

回 答	在宅要介護	
	件数	割合
仕事をした	61	5.4%
仕事をしていない	1,054	93.9%
無回答	7	0.6%
合 計	1,122	100.0%

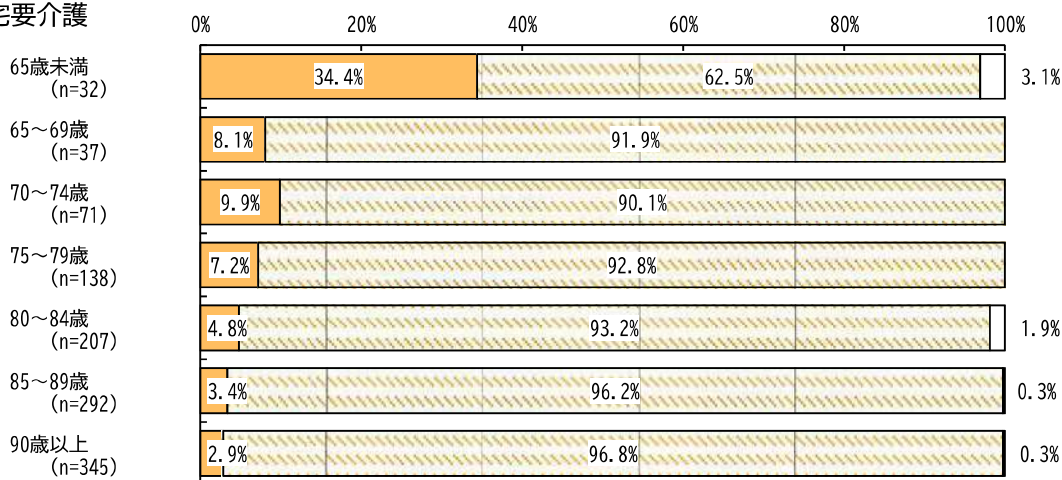
単純集計で見ると、「仕事をしていない」が93.9%と最も高く、次いで「仕事をした」が5.4%となっています。

年齢別で見ると、「仕事をした」は65歳未満で高くなっています。



【年齢別集計】

○在宅要介護



介護・介助が必要か

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

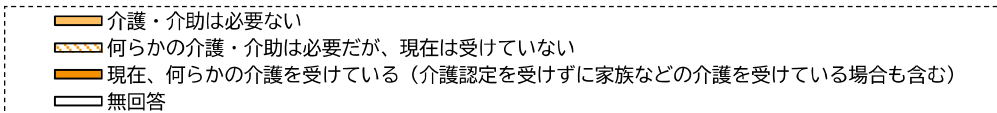
< 高齢者一般調査 問2・在宅要支援認定者調査 問3 >

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
介護・介助は必要ない	1,301	92.6%	510	40.6%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	50	3.6%	274	21.8%
現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	33	2.3%	436	34.7%
無回答	21	1.5%	37	2.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

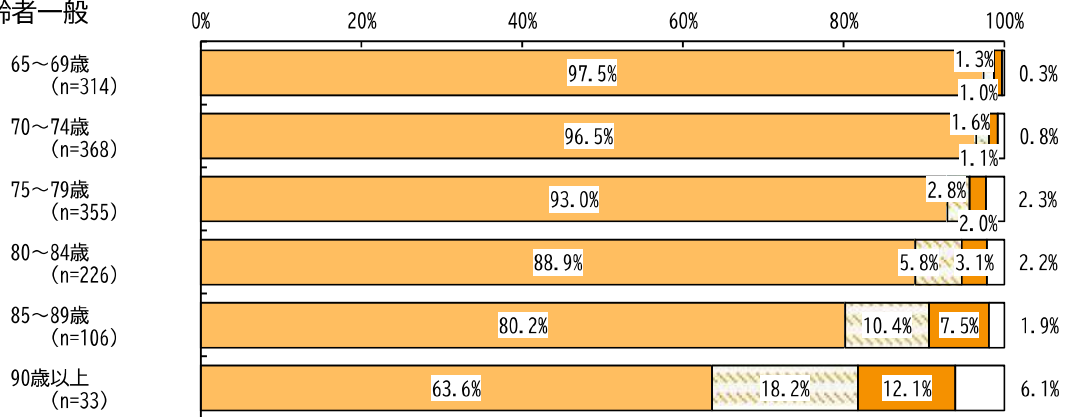
単純集計でみると、高齢者一般では「介護・介助は必要ない」の割合が高く、在宅要支援認定者では「介護・介助は必要ない」と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」を合わせて約6割が“介護・介助を受けていない”となっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在何らかの介護を受けている」の割合が高くなる傾向がみられますが、在宅要支援認定者ではそのような傾向はみられません。

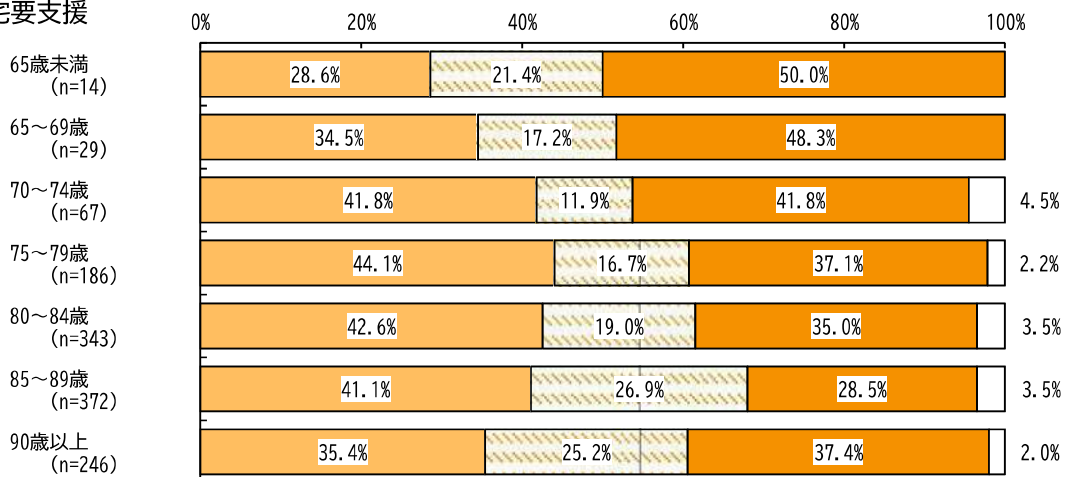


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



現在の暮らしの経済的な状況

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

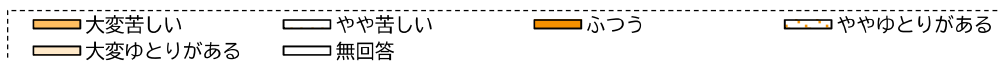
<高齢者一般調査 問3・在宅要支援認定者調査 問4>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
大変苦しい	99	7.0%	104	8.3%
やや苦しい	307	21.9%	296	23.5%
ふつう	841	59.9%	755	60.1%
ややゆとりがある	117	8.3%	68	5.4%
大変ゆとりがある	23	1.6%	12	1.0%
無回答	18	1.3%	22	1.8%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

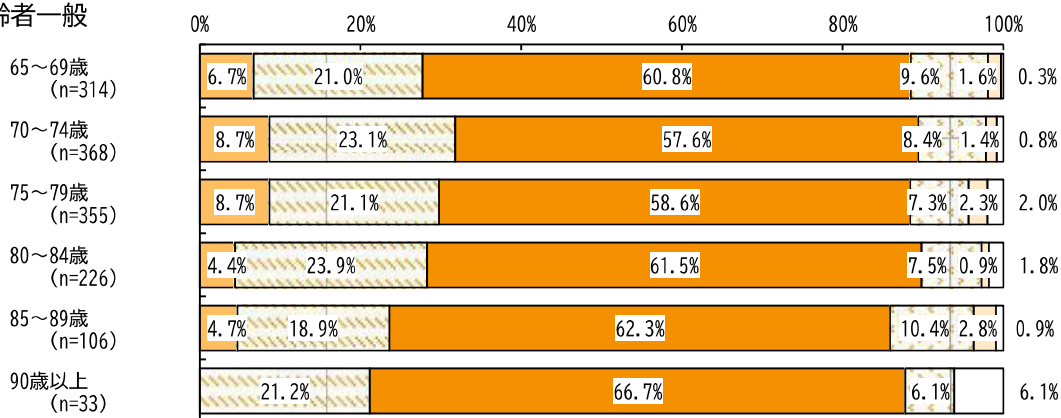
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ふつう」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「大変苦しい」、
 「やや苦しい」の割合が低くなる傾向がみられます。

区別でみると、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合は、高齢者一般の天竜区ではやや高く、
 在宅要支援認定者の天竜区ではやや低くなっています。



【年齢別集計】

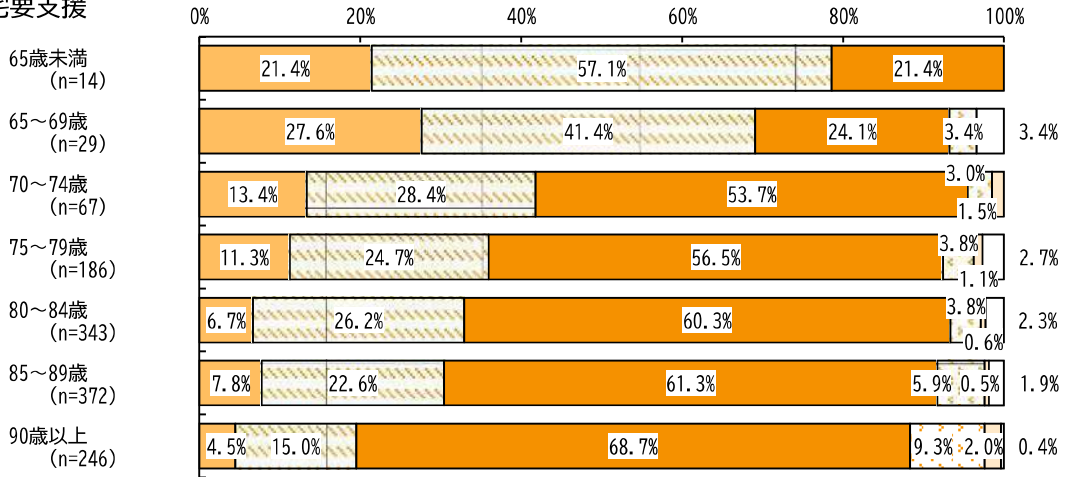
○高齢者一般





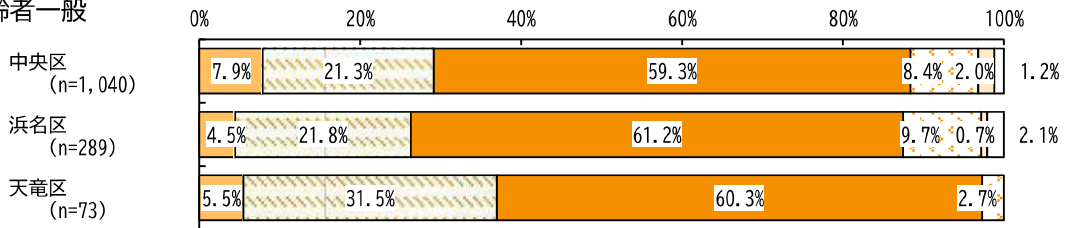
【年齢別集計】

○在宅要支援

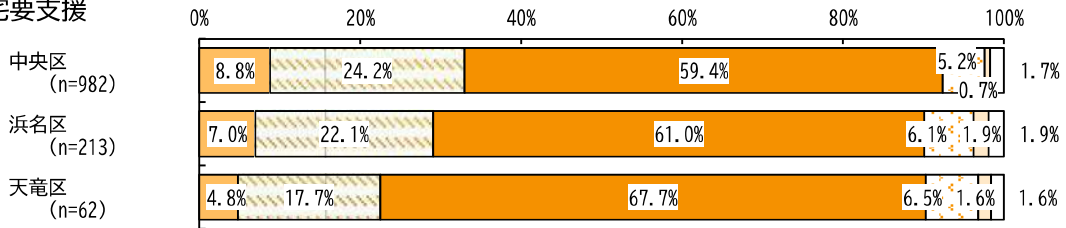


【区別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



(あなたのご家族や生活状況について)

介護・介助を行っているか

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問4・在宅要支援認定者調査 問5・在宅要介護認定者調査 問4>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
介護・介助を行っていない	1,240	88.3%	997	79.3%	911	81.2%
介護・介助をしている	139	9.9%	220	17.5%	200	17.8%
無回答	26	1.9%	40	3.2%	11	1.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「介護・介助を行っていない」の割合が高くなっています。

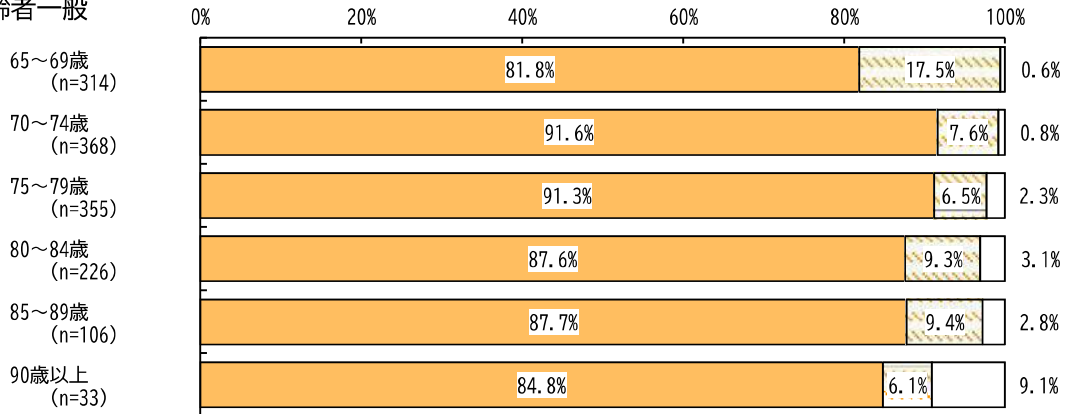
年齢別でみると、「介護・介助を行っていない」の割合は、高齢者一般ではすべての年齢で8割を超えており、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者でもすべての年齢で7割を超えています。

家族構成別でみると、1人暮らしで「介護・介助を行っていない」の割合がやや高くなっています。

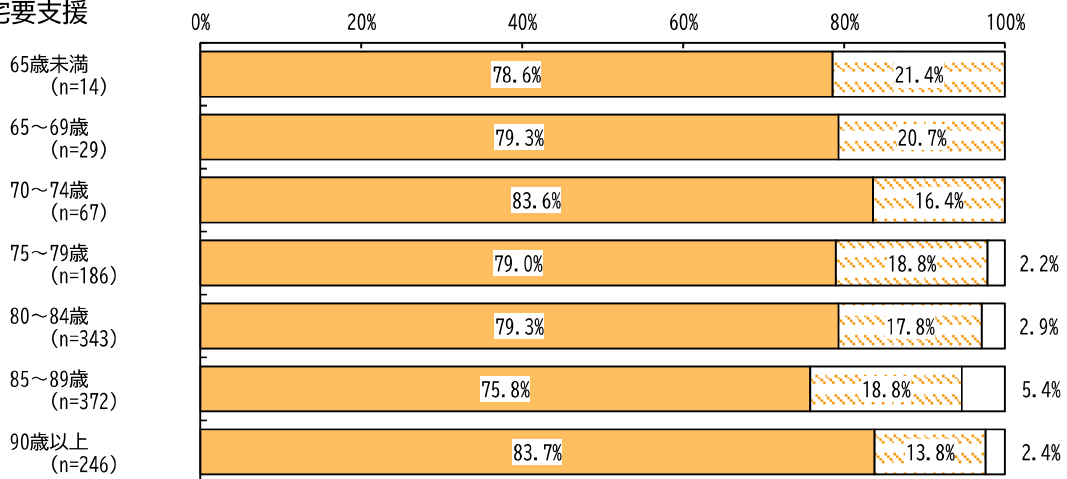


【年齢別集計】

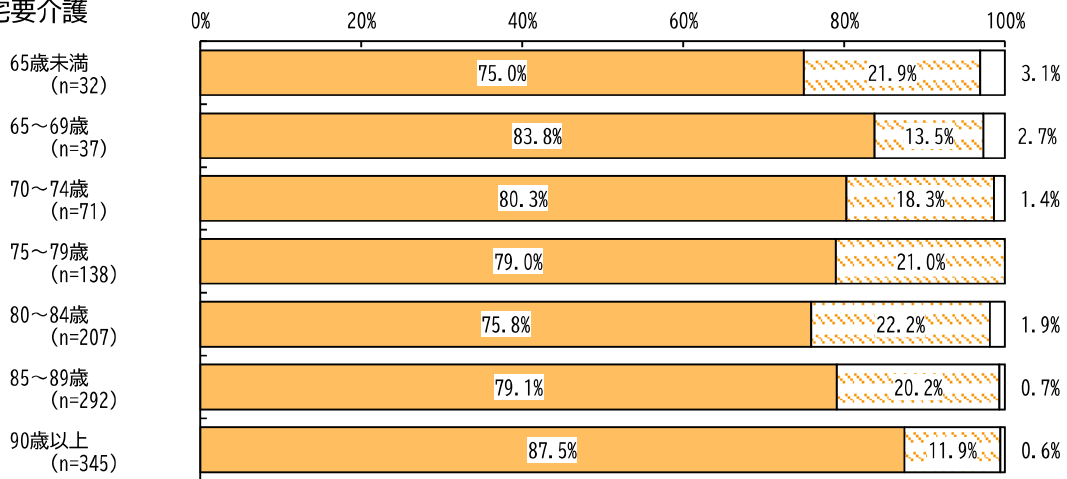
○高齢者一般



○在宅要支援



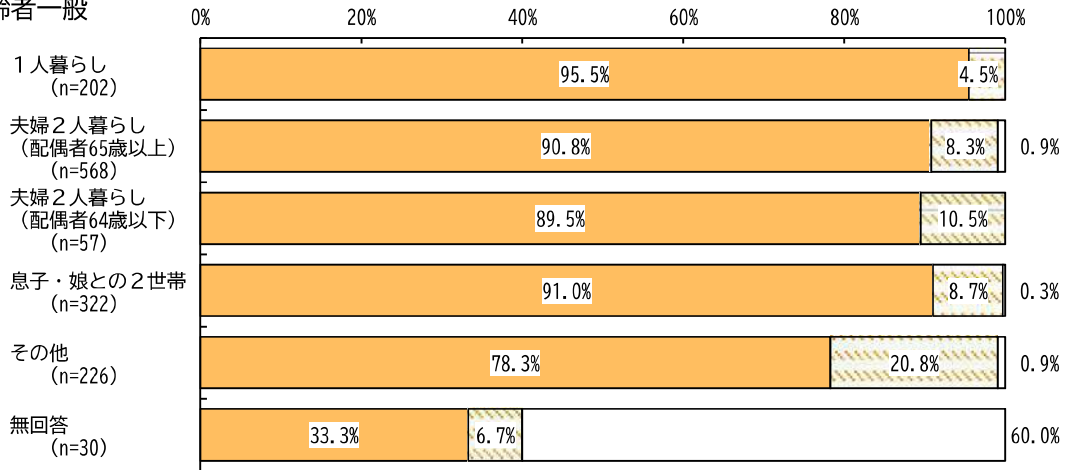
○在宅要介護



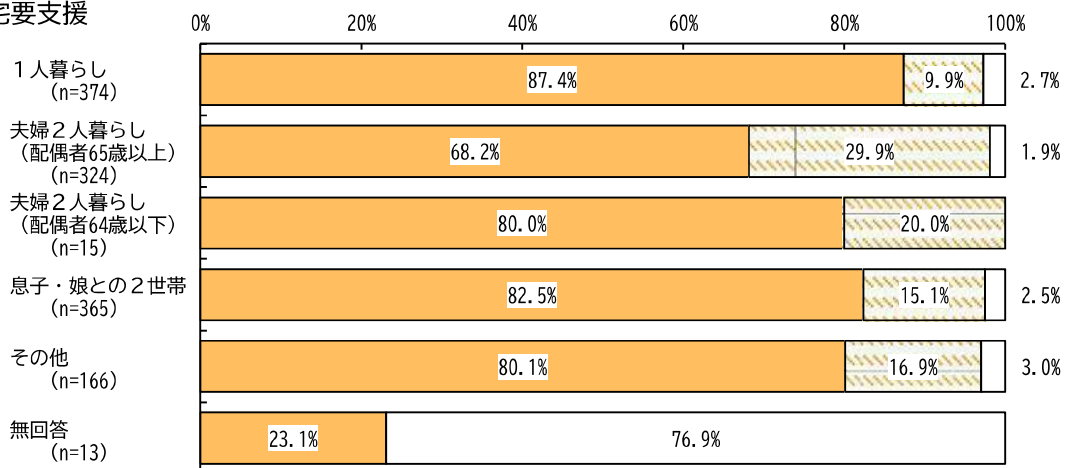


【家族構成別集計】

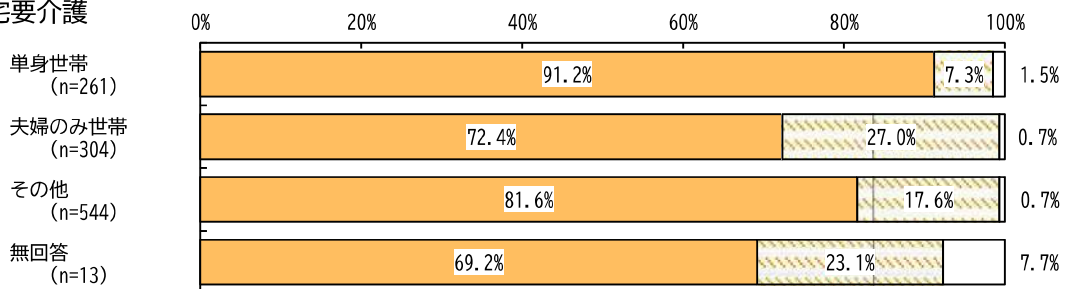
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



(あなたのご家族や生活状況について)

介護・介助を行う相手

「介護・介助をしている」と回答した方にお伺いします。

どなたの介護・介助を行っていますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問4 - 1・在宅要支援認定者調査 問5 - 1・在宅要介護認定者調査 問4 - 1>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
親	65	46.8%	15	6.8%	47	23.5%
配偶者	57	41.0%	140	63.6%	123	61.5%
兄弟、姉妹	9	6.5%	7	3.2%	6	3.0%
子	9	6.5%	39	17.7%	30	15.0%
孫	0	0.0%	2	0.9%	1	0.5%
その他	4	2.9%	24	10.9%	9	4.5%
無回答	0	0.0%	7	3.2%	3	1.5%
回 答 数	139	-	220	-	200	-

単純集計で見ると、高齢者一般では「親」と「配偶者」の割合が高く、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「配偶者」の割合が高くなっています。

(からだをうごかすことについて)

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

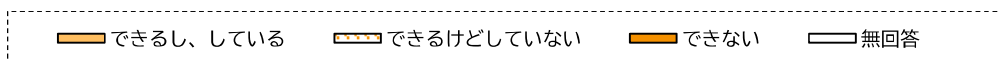
<高齢者一般調査 問5・在宅要支援認定者調査 問6>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	855	60.9%	286	22.8%
できるけどしていない	352	25.1%	214	17.0%
できない	173	12.3%	736	58.6%
無回答	25	1.8%	21	1.7%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

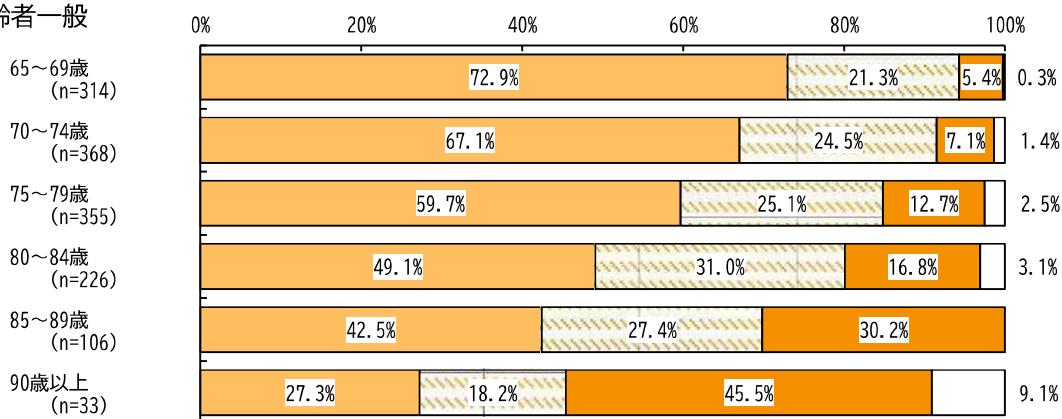
単純集計でみると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高く、在宅要支援認定者では「できない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなる傾向がみられます。

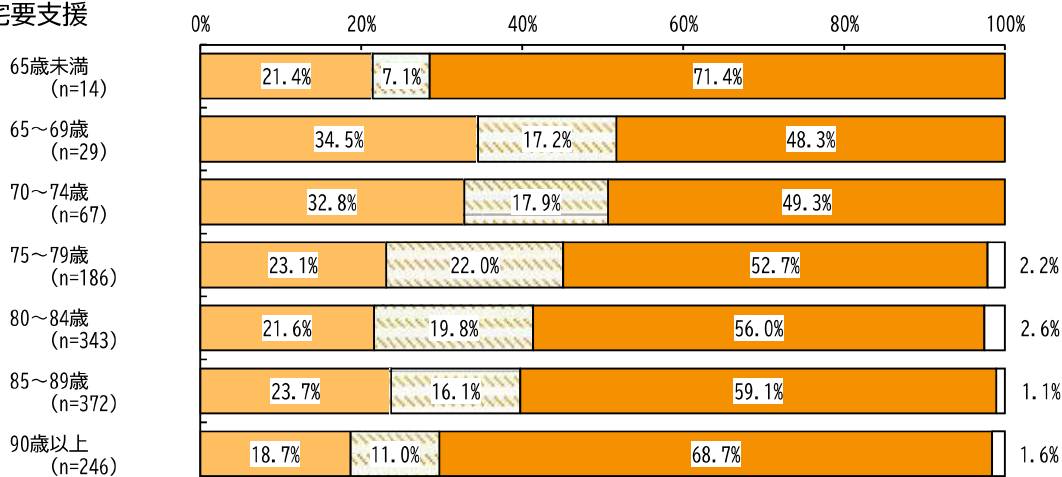


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



(からだをうごかすことについて)

椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

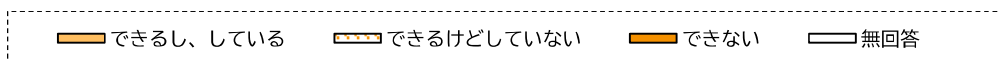
<高齢者一般調査 問6・在宅要支援認定者調査 問7>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,087	77.4%	517	41.1%
できるけどしていない	207	14.7%	211	16.8%
できない	91	6.5%	502	39.9%
無回答	20	1.4%	27	2.1%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

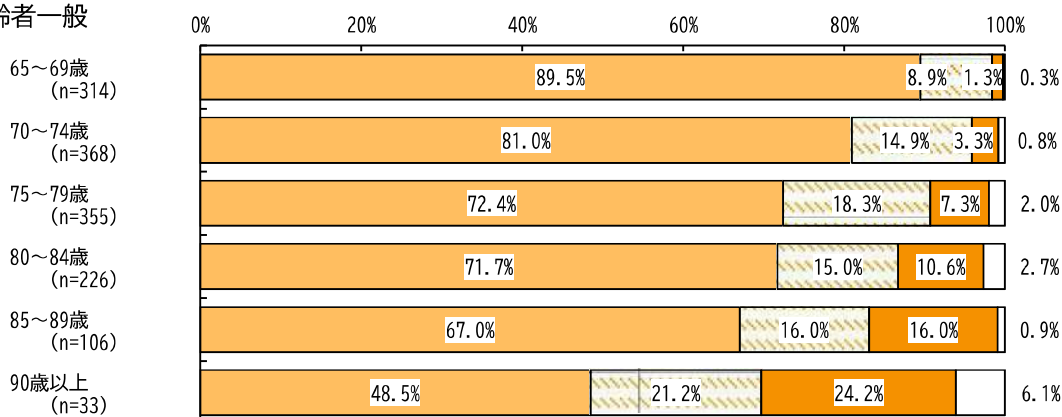
単純集計で見ると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高く、在宅要支援認定者では「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせて約6割が“できる”と回答しています。

年齢別で見ると、高齢者一般は年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合が低くなり、「できない」の割合が高くなる傾向がみられます。

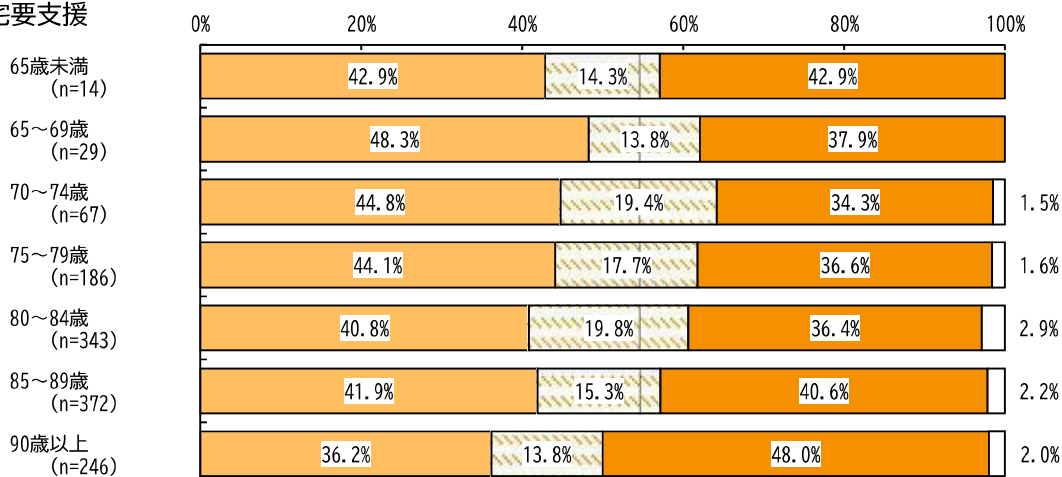


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



15分位続けて歩けるか

15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

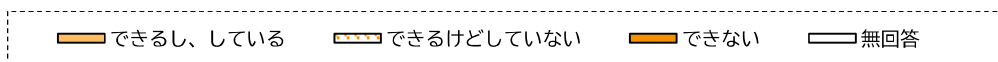
<高齢者一般調査 問7・在宅要支援認定者調査 問8>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
できるし、している	1,035	73.7%	633	50.4%
できるけどしていない	275	19.6%	215	17.1%
できない	75	5.3%	388	30.9%
無回答	20	1.4%	21	1.7%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

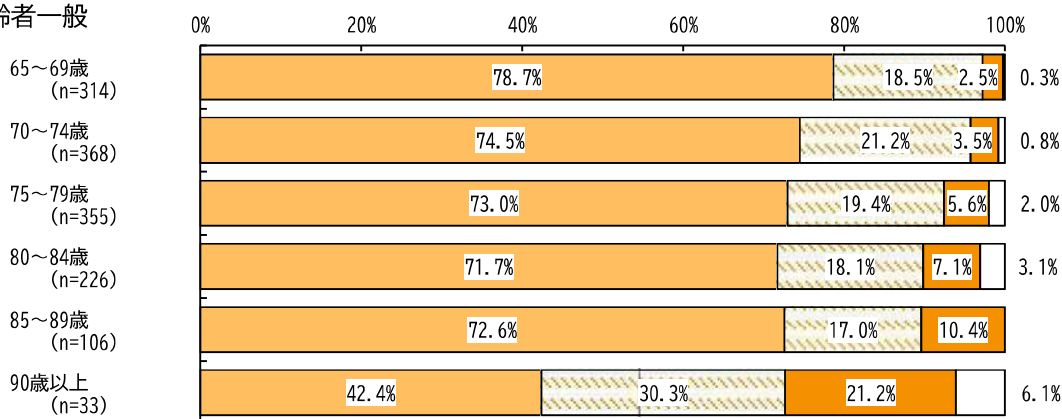
単純集計で見ると、高齢者一般では「できるし、している」の割合が高くなっています。在宅要支援認定者では「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせて約7割が「できる」と回答しています。

年齢別で見ると、在宅要支援認定者の65歳以上では約3割が「できない」と回答しています。

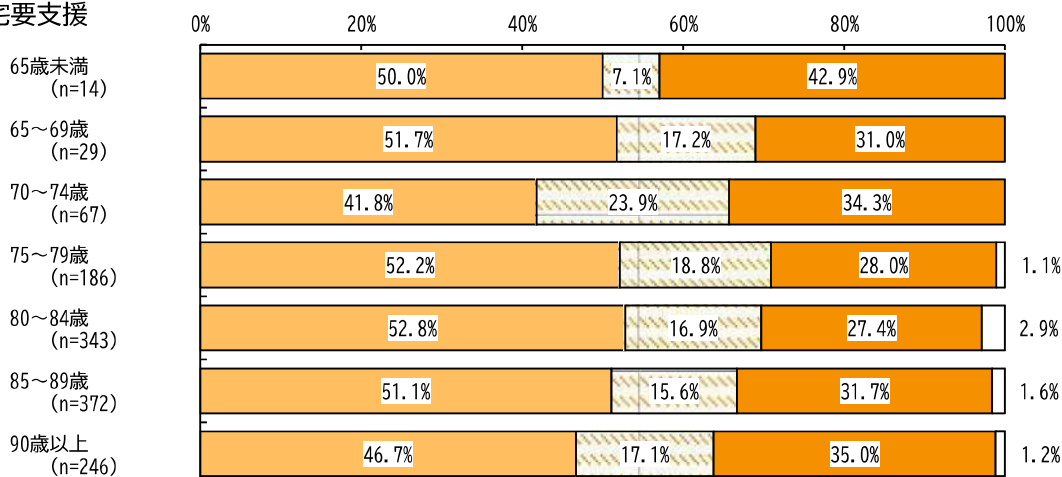


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



過去1年間に転んだ経験

過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

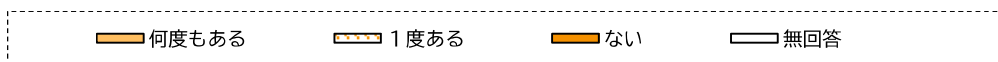
<高齢者一般調査 問8・在宅要支援認定者調査 問9>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
何度もある	108	7.7%	261	20.8%
1度ある	302	21.5%	403	32.1%
ない	976	69.5%	574	45.7%
無回答	19	1.4%	19	1.5%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

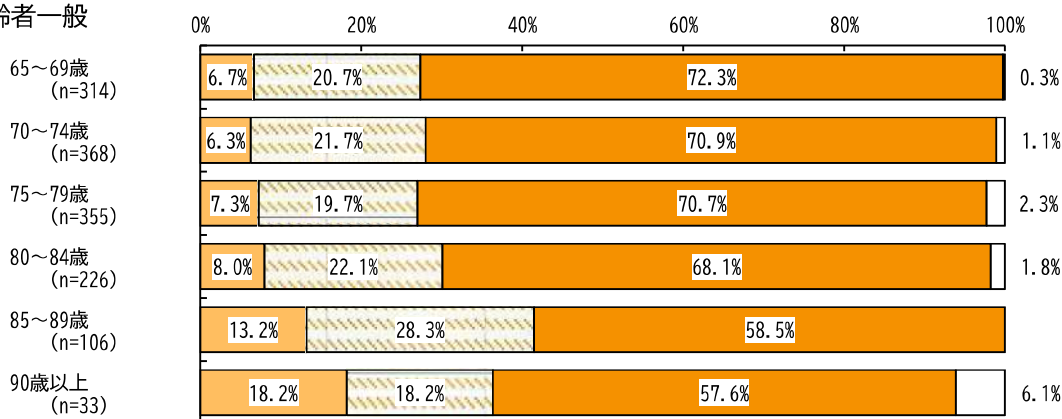
単純集計で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「何度もある」、「1度ある」の割合が高くなる傾向がみられます。在宅要支援認定者では、他の年齢に比べて65歳未満は「何度もある」の割合が高く、5割を超えています。

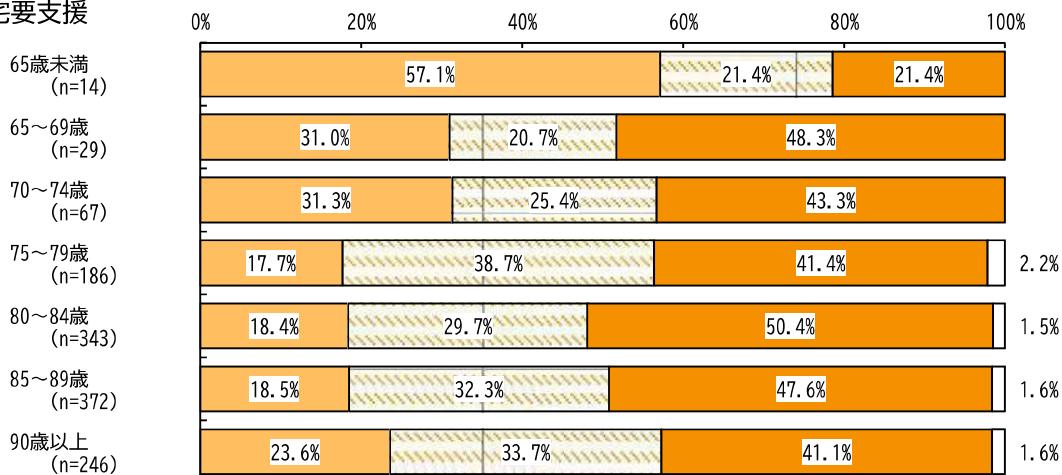


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



転倒に対する不安

転倒に対する不安は大きいですか。(〇はひとつ)

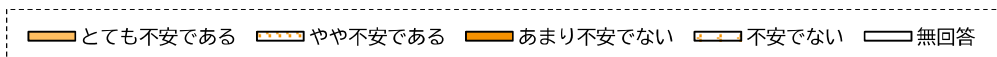
<高齢者一般調査 問9・在宅要支援認定者調査 問10>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても不安である	193	13.7%	538	42.8%
やや不安である	597	42.5%	528	42.0%
あまり不安でない	371	26.4%	132	10.5%
不安でない	225	16.0%	46	3.7%
無回答	19	1.4%	13	1.0%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

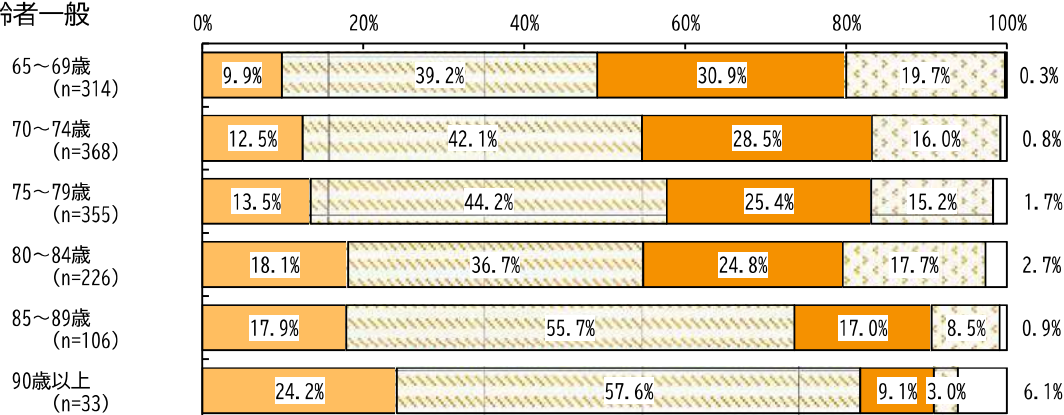
単純集計でみると、高齢者一般では「とても不安である」「やや不安である」をあわせた割合は5割を超えており、在宅要支援認定者では8割を超えています。

年齢別にみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「とても不安である」、「やや不安である」の割合が高くなる傾向がみられますが、在宅要支援認定者では、大きな差はみられません。

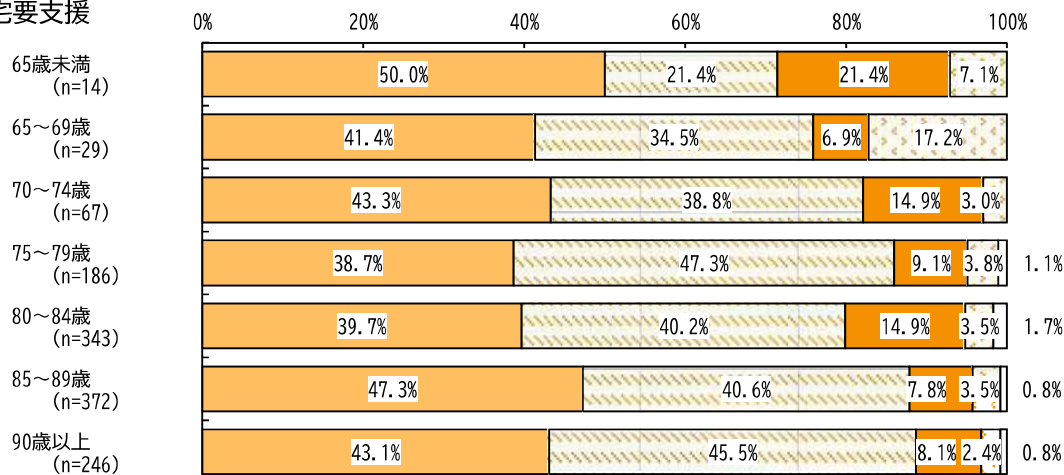


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



(からだをうごかすことについて)

週1回以上外出しているか

週に1回以上は外出（散歩なども含めます）していますか。（○はひとつ）

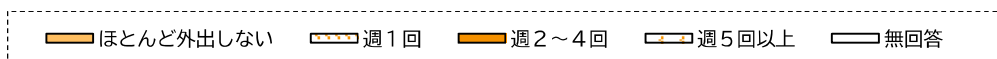
<高齢者一般調査 問10・在宅要支援認定者調査 問11>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ほとんど外出しない	44	3.1%	145	11.5%
週1回	118	8.4%	268	21.3%
週2～4回	545	38.8%	598	47.6%
週5回以上	681	48.5%	231	18.4%
無回答	17	1.2%	15	1.2%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

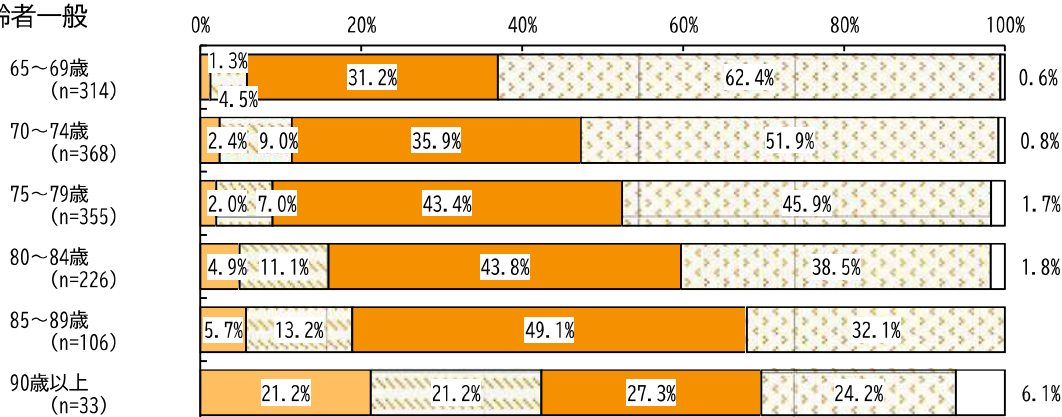
単純集計でみると、高齢者一般では「週5回以上」の割合が高く、在宅要支援認定者では「週2～4回」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「週5回以上」の割合が低くなる傾向がみられます。

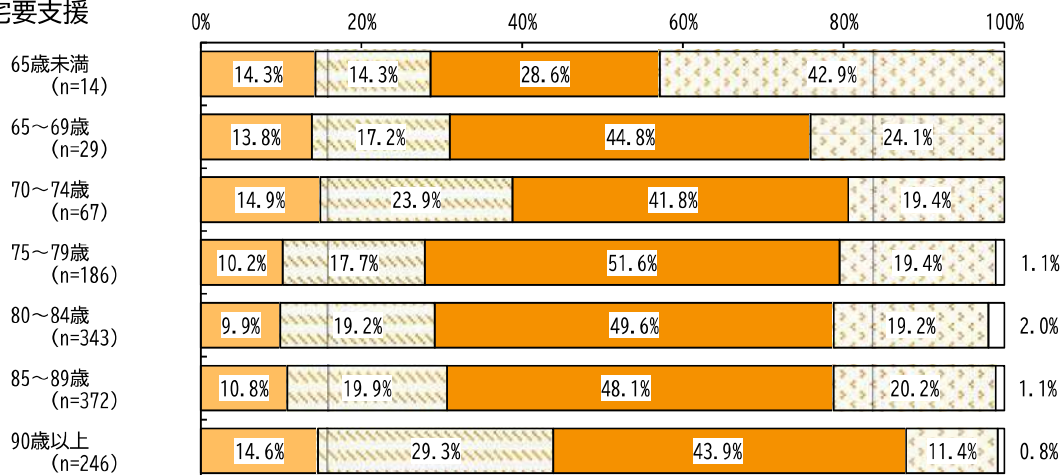


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



昨年と比べて外出回数が減ったか

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

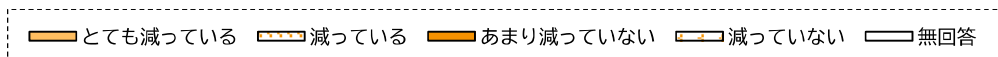
<高齢者一般調査 問11・在宅要支援認定者調査 問12>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても減っている	30	2.1%	154	12.3%
減っている	280	19.9%	509	40.5%
あまり減っていない	466	33.2%	352	28.0%
減っていない	613	43.6%	226	18.0%
無回答	16	1.1%	16	1.3%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

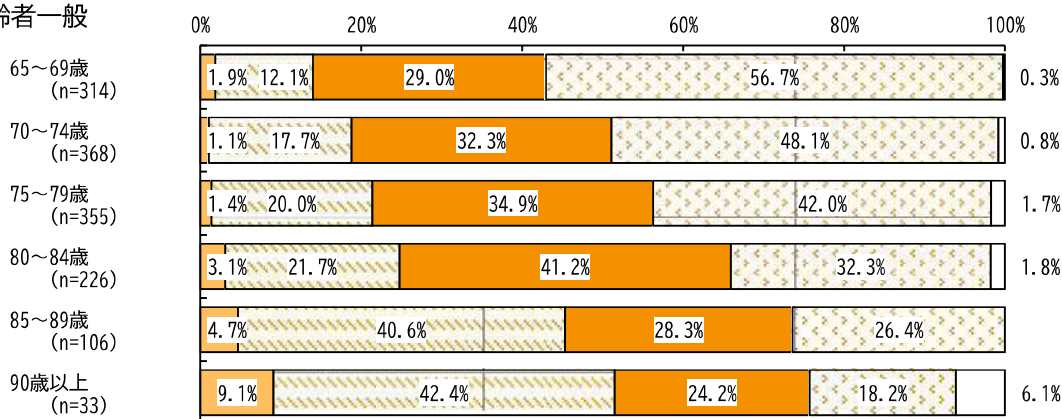
単純集計でみると、高齢者一般では「減っていない」の割合が最も高く、在宅要支援認定者では「減っている」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、年齢が高くなるにつれて「減っていない」の割合が低くなる傾向がみられます。

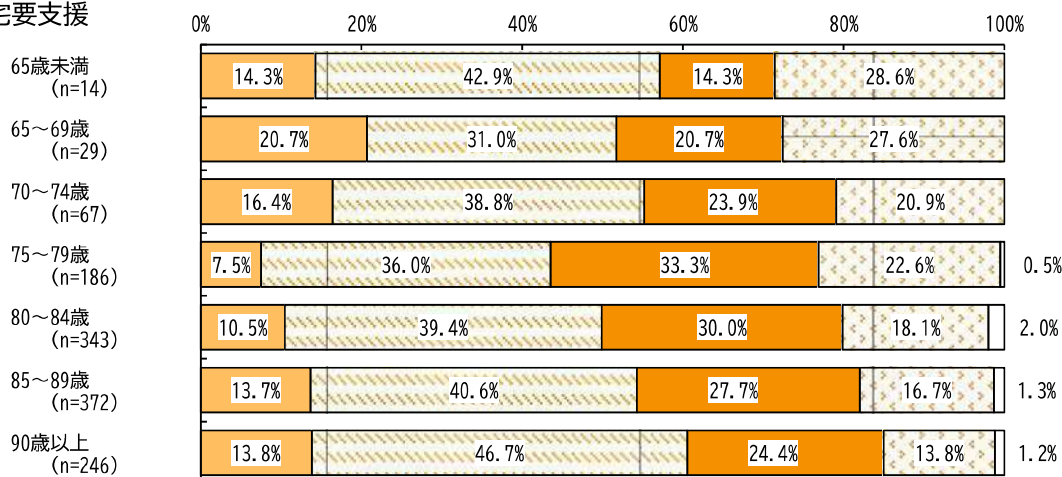


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



(食べることについて)

身長・体重

身長・体重 (数字を記入)

< 高齢者一般調査 問12・在宅要支援認定者調査 問13 >

【単純集計】身長

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
130cm未満	0	0.0%	1	0.1%
130cm以上140cm未満	8	0.6%	45	3.6%
140cm以上150cm未満	205	14.6%	341	27.1%
150cm以上160cm未満	539	38.4%	394	31.3%
160cm以上170cm未満	440	31.3%	322	25.6%
170cm以上180cm未満	156	11.1%	82	6.5%
180cm以上	11	0.8%	3	0.2%
無回答	46	3.3%	69	5.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

【単純集計】体重

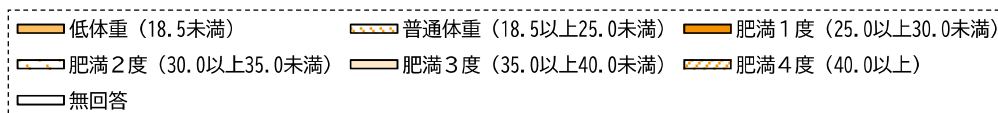
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
30kg未満	0	0.0%	4	0.3%
30kg以上40kg未満	48	3.4%	94	7.5%
40kg以上50kg未満	340	24.2%	391	31.1%
50kg以上60kg未満	463	33.0%	376	29.9%
60kg以上70kg未満	340	24.2%	227	18.1%
70kg以上80kg未満	130	9.3%	88	7.0%
80kg以上	34	2.4%	21	1.7%
無回答	50	3.6%	56	4.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

【単純集計】肥満度 ※肥満度=体重÷(身長×身長)

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
低体重 (18.5未満)	140	10.0%	175	13.9%
普通体重 (18.5以上25.0未満)	972	69.2%	797	63.4%
肥満1度 (25.0以上30.0未満)	221	15.7%	174	13.8%
肥満2度 (30.0以上35.0未満)	16	1.1%	31	2.5%
肥満3度 (35.0以上40.0未満)	1	0.1%	5	0.4%
肥満4度 (40.0以上)	0	0.0%	0	0.0%
無回答	55	3.9%	75	6.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

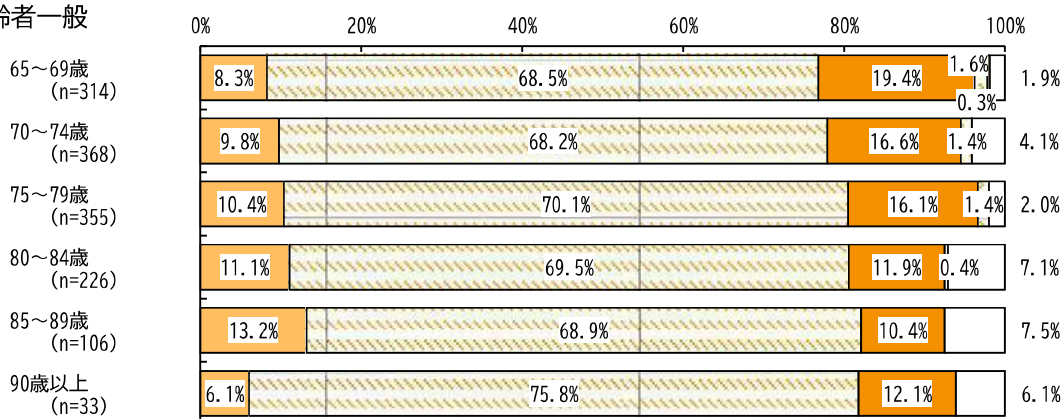
単純集計（肥満度）でみると、高齢者一般に比べて在宅要支援認定者は低体重の割合が高くなっています。

年齢別（肥満度）でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに年齢が上がるにつれて肥満が減る傾向がみられます。

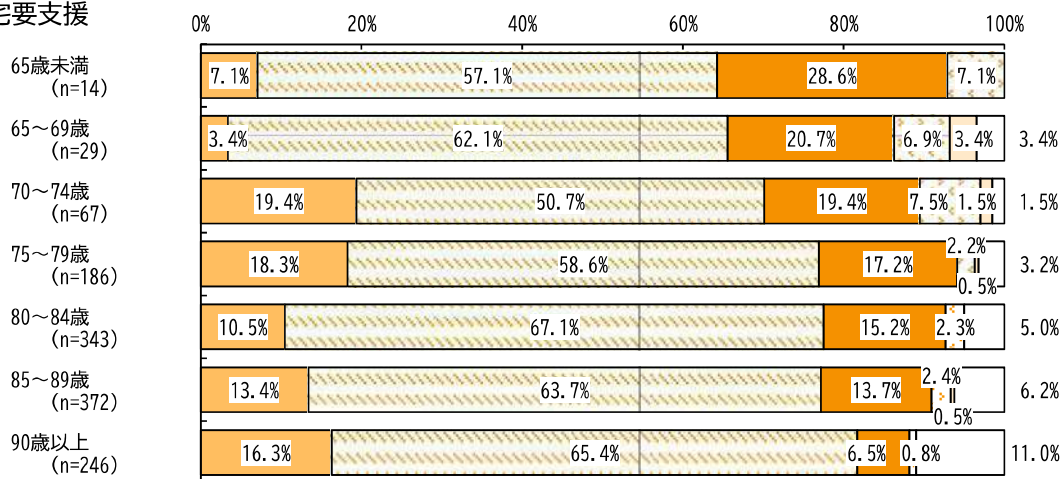


【年齢別集計】肥満度

○高齢者一般



○在宅要支援



半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

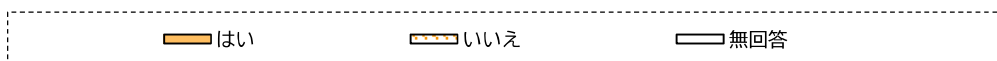
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問13・在宅要支援認定者調査 問14>

【単純集計】

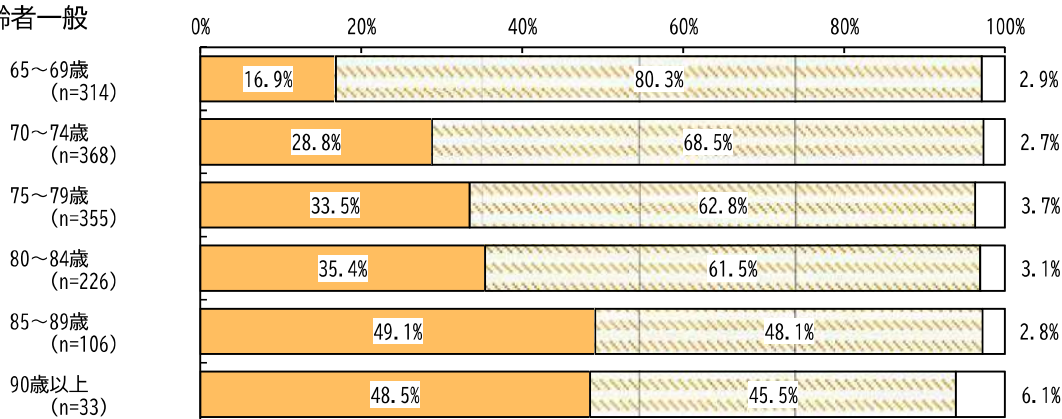
回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	427	30.4%	598	47.6%
いいえ	933	66.4%	638	50.8%
無回答	45	3.2%	21	1.7%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。
 年齢別で見ると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援

